



GVT-256690-001-00 1.00

QX-W1200 シリーズ

アクセスポイント

Anchor-AC Web コンソール操作マニュアル

## 改版履歴

版数	日付	改版内容
1.00	2025/03	初版発行

## All Rights Reserved

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

## 商標

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

## 注意

- 本装置は QX-W1200 シリーズ アクセスポイント コマンドマニュアルに記載されているコマンドのみ使用することができます。QX-W1200 シリーズ アクセスポイント コマンドマニュアルに記載されていないコマンドを使用した場合の動作については保証しません。
- 本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的かにかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

# 本マニュアルについて

## バージョン

本マニュアルに対応する製品バージョンは Version 7.5.X を含む以降のソフトウェアです。

## 関連マニュアル

次のマニュアルには、本製品に関する詳細な説明があります

マニュアル	内容
QX-W1200 シリーズアクセスポイント インストールマニュアル	システムのインストールについて説明しています。
QX-W1200 シリーズアクセスポイント オペレーションマニュアル	機能の設定について説明しています。
QX-W1200 シリーズアクセスポイント コマンドマニュアル	機能に関するコマンドについて説明しています。
QX-W1200 シリーズアクセスポイント Web コンソール操作マニュアル	Web コンソールからの装置設定、状態確認等についての操作を記述しています。
QX-W1200 シリーズアクセスポイント Anchor-AC オペレーションマニュアル	Anchor-AC として動作させる場合の機能設定について説明しています。
QX-W1200 シリーズアクセスポイント Anchor-AC コマンドマニュアル	Anchor-AC として動作させる場合の機能に関するコマンドについて説明しています。
<b>QX-W1200 シリーズアクセスポイント Anchor-AC Web コンソール操作マニュアル</b>	Web コンソールからの装置設定、状態確認等についての操作を記述しています。
QX-W シリーズ Web 認証(ポータル認証) オペレーションマニュアル	QX-W シリーズの Web 認証(ポータル認証)に関する設定について説明しています。
QX-W シリーズ Web 認証(ポータル認証) コマンドマニュアル	QX-W シリーズの Web 認証(ポータル認証)に関するコマンドについて説明しています。

## マニュアルの構成

このオペレーションマニュアルは以下のセクションで構成されます。

- **1章 Web コンソール機能の概要**

Web コンソールの機能概要、特長が記載されています。

- **2章 Web コンソールへの接続**

ログイン画面、ログイン名、パスワードの入力方法について記載しています。

- **3章 ダッシュボードメニュー**

ログイン後に表示される画面（Dashboard 画面）について記載しています。

- **4章 ネットワーク構成メニュー**

インタフェースやリンクアグリゲーションの設定、VLAN、ルーティング、マルチキャストの設定、表示手順について記載しています。

- **5章 System メニュー**

Syslog 情報、ファイルの管理、ユーザ設定、装置管理の設定、表示手順について記載しています。

- **6章 Tools メニュー**

診断情報の設定、表示手順について記載しています。

- **7章 クイックスタートメニュー**

AP の設定、表示手順について記載しています。

- **8章 ワイヤレス構成メニュー**

AP 管理について記載しています。

## 表記規則

本マニュアルでは、次の表記規則を使用しています。

### I. コマンド表記規則

表記規則	説明
<b>太字体</b>	コマンドラインを示すキーワードには <b>太字体</b> を使用します。
<i>イタリック体</i>	コマンドの引数は <i>イタリック体</i> を使用します。
[ ]	大カッコに囲まれた項目(キーワード、引数)はオプションです。
{x y ...}	選択する項目は、中カッコに入れて縦線で区切ってあります。1つを選択します。
[x y ...]	オプションの選択項目は、大カッコに入れて縦線で区切ってあります。1つまたは複数を選択します。
{x y ...}*	選択する項目は、中カッコに入れて縦線で区切ってあります。少なくとも1つ選択できます。
[x y ...]*	オプションの選択項目は、大カッコに入れて、縦線で区切ってあります。1つあるいは複数選択することも、何も選択しないこともできます。
&<1-n>	&の前のキーワードと引数を組み合わせます。引数で指定した数までキーワードを繰り返し指定できます。
#	#で始まる行はコメントを示します。

### II. GUI 表記規則

表記規則	説明
<>	ボタン名は三角カッコに入っています。例えば、<OK>ボタンをクリックします。
[ ]	ウィンドウ名、メニュー項目、データ表、およびフィールド名は大カッコに入っています。例えば、[New User]ウィンドウが表示されます。
/	複数レベルのメニューはスラッシュで区切ってあります。例えば、[File/Create/Folder]。

### III. キーボード操作

表記規則	説明
<KEY>	KEYのキーを押します。例えば、<Enter>はEnterキーを押します。
<KEY1 + KEY2>	複数のキーを同時に押します。例えば、<Ctrl+Alt+A>は3つのキーを同時に押すことを表します。

表記規則	説明
<KEY1, KEY2>	複数のキーを順番に押します。例えば、<Alt, A>は2つのキーを順に押すことを表します。

#### IV. マウス操作

表記規則	説明
クリック	マウスのボタンを素早く押します。特に指定がない場合は左ボタンを押します。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを素早く2回押します。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したまま移動します。

#### V. 記号

表記規則	説明
 警告	表示を無視したり指示に従わない場合、利用者が怪我などをする恐れのある重要な情報を示します。
 注意	表示を無視したり指示に従わない場合、データの損失や破損、ハードウェアやソフトウェアの損傷などが発生する恐れのある重要な情報を示します。
 重要	注意を払う必要がある情報を示します。
 メモ	追加または補足となる情報を示します。
 ポイント	参考となる情報を示します。

#### VI. ネットワークアイコン

表記規則	説明
	ルータ、スイッチ、またはファイアウォールなどの一般的なネットワークデバイスを表しています。
	ルータまたはレイヤ3スイッチなどのルーティング対応のデバイスを表しています。
	レイヤ2、レイヤ3スイッチまたはレイヤ2転送機能に対応したルータなどの一般的なスイッチデバイスを表しています。

#### VII. 設定例

本マニュアルの設定例は各機能での代表的な設定例を示します。インターフェース番号、システム名の表記、display コマンドで表示される情報は、ご使用の装置と異なることがあります。

#### VIII. セキュリティ強化

セキュリティ強化のため、simple で設定されたパスワードも cipher や hash で登録され  
ま  
す  
。

本マニュアルは以下に示すセクションで構成されています。

- 01 - Web コンソール機能の概要
- 02 - Web コンソールへの接続
- 03 - ダッシュボードメニュー
- 04 - ネットワーク構成メニュー
- 05 - System メニュー
- 06 - Tools メニュー
- 07 - クイックスタートメニュー
- 08 - ワイヤレス構成メニュー

## 目次

<b>1章 Webコンソール機能の概要</b> .....	<b>1-1</b>
1.1 Webコンソールの説明 .....	1-1
1.2 Webコンソールの有効化 .....	1-1
1.2.1 コンソール接続 .....	1-1
1.2.2 LANケーブルの接続 .....	1-1
1.2.3 装置のアドレスの設定 .....	1-2
1.2.4 PCの設定 .....	1-2
1.2.5 HTTPサービスの有効化 .....	1-6
1.2.6 Webコンソールユーザの作成 .....	1-7
1.3 端末動作環境 .....	1-8
1.3.1 オペレーティングシステム .....	1-8
1.3.2 ブラウザ .....	1-8

# 1章 Web コンソール機能の概要

## 1.1 Webコンソールの説明

Web コンソールは装置にローカルユーザ、IP アドレスを設定した後、CLI を使用せずに Web ブラウザから装置の設定をすることができます。

VLAN 作成、ポート状態の管理、コンフィグやソフトウェアのアップロードなどを GUI 操作で簡単にできます。



- Web コンソールを使用する前に、CLI でローカルユーザ、IP アドレスの設定を行う必要があります。
  - Web コンソール操作時に表示されるメッセージが、CLI 操作時と異なる場合があります。
  - Web コンソールを接続したまま、CLI 等で設定変更を行うと、Web コンソールの操作が正しく行えない場合や、操作上のメッセージが正しく表示されない場合があります。
  - Web コンソールで設定を変更する場合、現在の装置情報を確認のうえ、操作を行ってください。
  - QX-W1200 シリーズアクセスポイント Anchor-AC の Web コンソールでサポートされる操作は、コマンドマニュアルに記載されている機能のみです。コマンドマニュアルに記載のない機能のメニューを操作したときの動作については保証できません。
- 

## 1.2 Webコンソールの有効化

装置に Web コンソール機能が備わっている場合でも、使用する前に Web コンソール機能の有効化と、Web コンソールで設定変更ができる権限を持ったユーザを作成する必要があります。

以下に Web コンソール機能の有効化とユーザの作成の手順を示します。

### 1.2.1 コンソール接続

コンソールケーブルで PC のシリアルポートと装置のコンソールポートを接続し、装置にログインします。

### 1.2.2 LAN ケーブルの接続

Web コンソールによる操作を行うため、装置の LAN ポートと端末の LAN ポートを LAN ケーブル（ストレート）で接続します。接続する LAN ポートはどこでもかまいません。

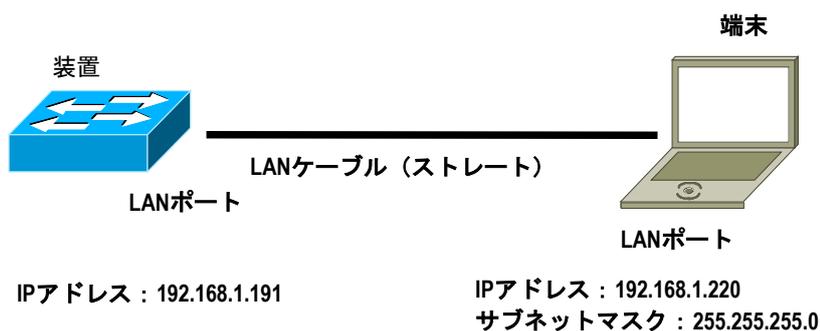


図 1-1 LAN ケーブルの接続

### 1.2.3 装置のアドレスの設定

# VLAN 1 を作成します。VLAN 1 に PC に接続されている GigabitEthernet 1/0/1 を追加します。

```
<AC> system-view
```

# VLAN インタフェース 1 に IP アドレス 192.168.1.1、サブネットマスク 255.255.255.0 を割り当てます。

```
[AC] interface vlan-interface 1  
[AC-VLAN-interface1] ip address 192.168.1.220 255.255.255.0  
[AC-VLAN-interface1] quit
```

### 1.2.4 PC の設定

PC にアドレスの設定を行います。コマンドプロンプトを起動します。PC から装置に対して ping を実行し、応答があることを確認します。

以下の手順では Windows 11 を使用しています。PC の環境により適切に通信確認を行ってください。

- 1) “スタート “→” 設定 “→” ネットワークとインターネット “→” ネットワークと共有センター “を開きます。



図 1-2 ネットワークと共有センター

- 2) “アクティブなネットワークの表示” → “イーサネット (図 1-2)” → “プロパティ” → “インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)” → “プロパティ” を選択します。PC の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。装置と異なるネットワーク上にある場合、デフォルトゲートウェイを設定します。その場合、装置にも PC があるネットワークに到達するためのデフォルトゲートウェイが必要です。

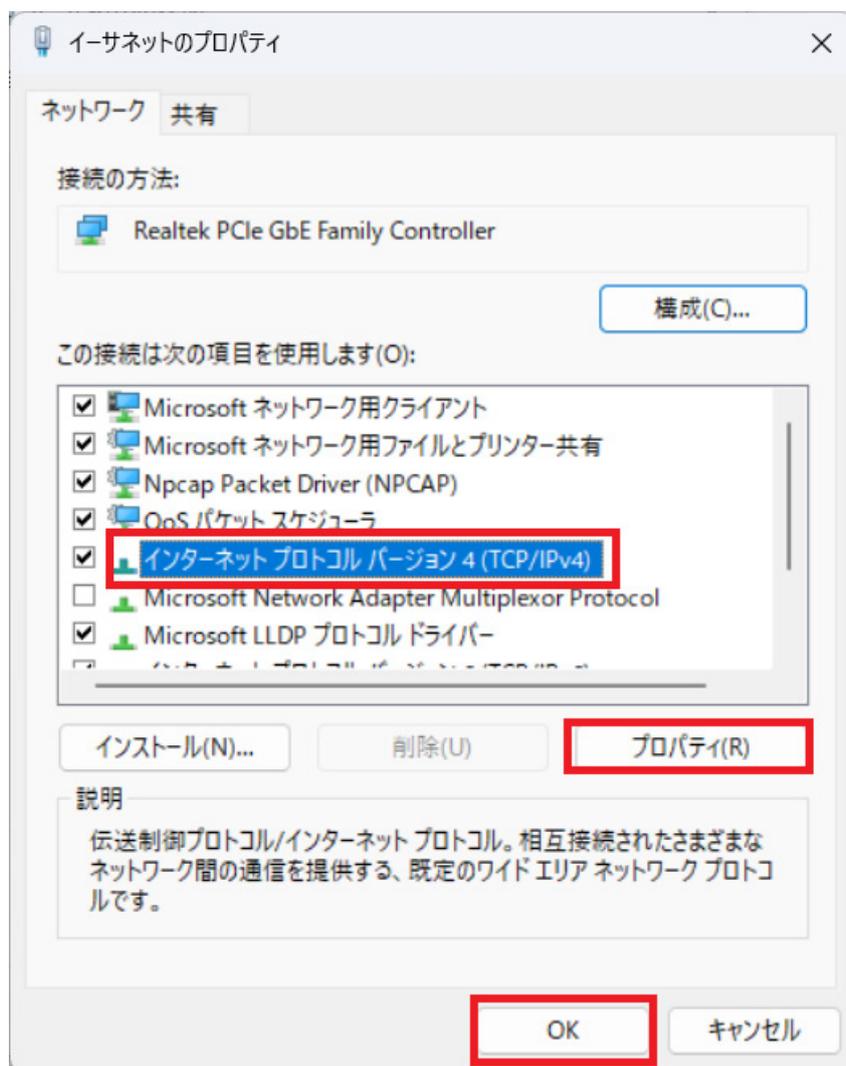


図 1-3 ローカルエリア接続のプロパティ

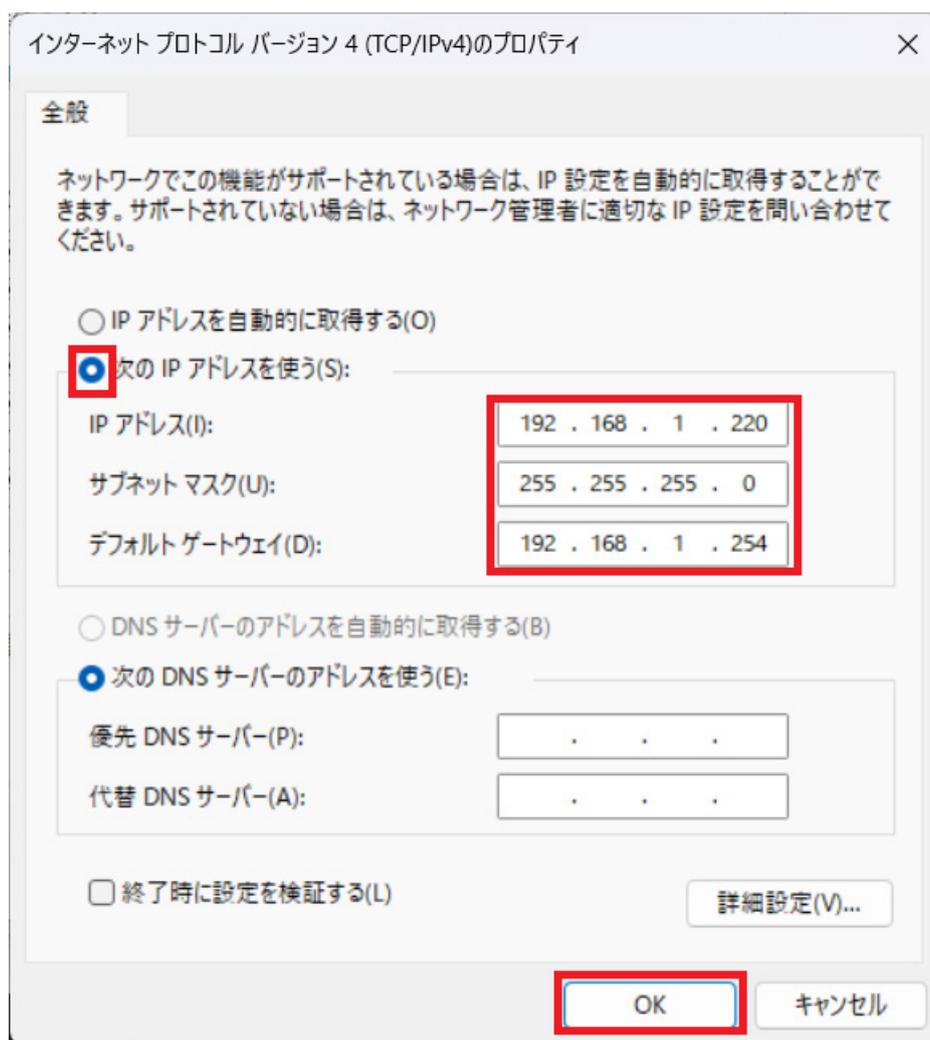


図 1-4 インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) でのアドレスの設定

- 3) “スタート “→” すべてのアプリ “→” Windows システムツール “→” コマンドプロンプト “の手順でコマンドプロンプトを起動します。PC のアドレスを確認するため、ipconfig を実行します。

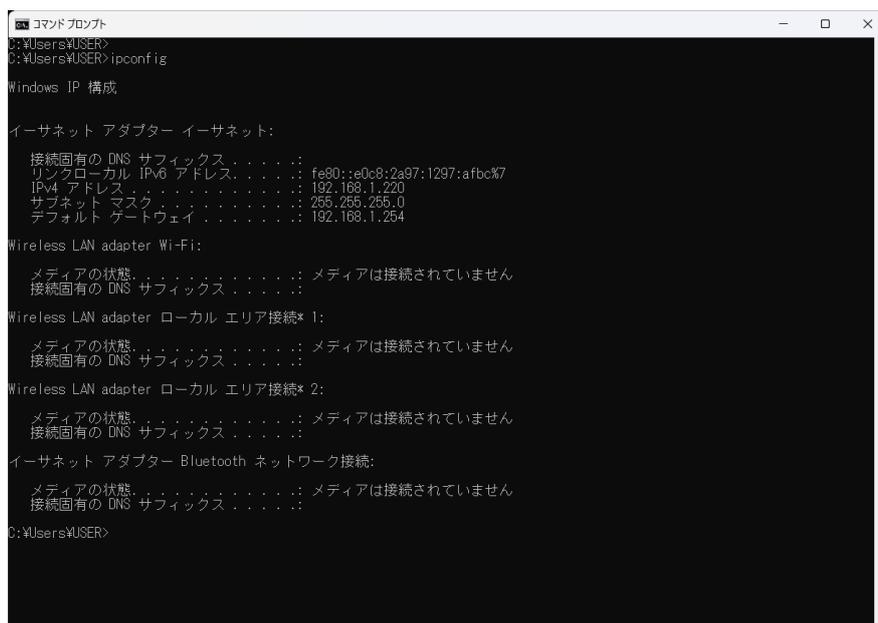


図 1-5 PC のアドレスの確認

4) PC から装置に ping を実行します。

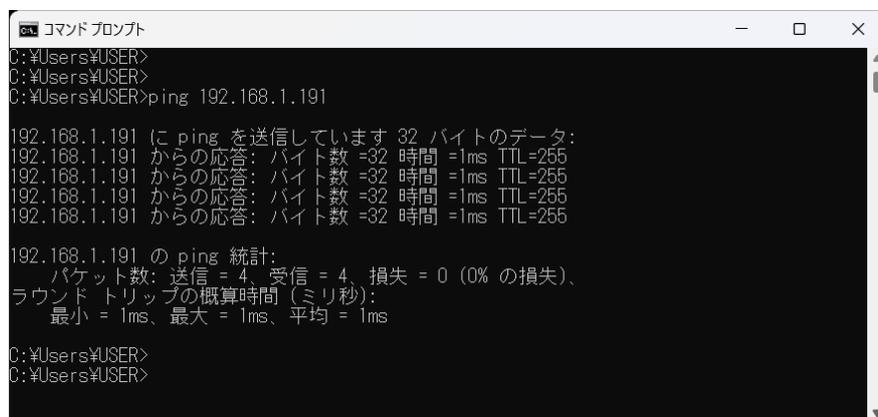


図 1-6 ping の実行

### 1.2.5 HTTP サービスの有効化

Web コンソールに HTTP で接続するために、HTTP サービスを有効になっていることを確認します。HTTP サービスはデフォルトで無効です。

# 現在の設定で HTTP サービスが無効でないことを確認します。HTTP サービスが無効である場合、カレントコンフィグレーションに **undo ip http enable** コマンドが表示されません。

HTTP サービスが無効の場合の表示例を以下に示します。

```
[QX-W1240]dis this
#
sysname QX-W1240
#
loopback-detection interval-time 5
#
scheduler logfile size 16
#
undo info-center logfile enable
undo info-center diagnostic-logfile enable
#
undo gratuitous-arp-learning enable
#
domain default enable system
#
return
```

# HTTP サービスが無効の場合、http サービスを有効にします。

```
[QX-W1240]ip http enable
[QX-W1240]dis this
#
sysname QX-W1240
#
loopback-detection interval-time 5
#
scheduler logfile size 16
#
undo info-center logfile enable
undo info-center diagnostic-logfile enable
#
undo gratuitous-arp-learning enable
#
domain default enable system
#
ip http enable
#
return
```

---

#### 📖 メモ :

- https で使用するユーザには **service-type https** コマンドを設定します。
  - https を使用する場合は **ip https enable** コマンドで HTTPS サービス有効にします。 **ip https enable** コマンドで HTTPS を有効にしていない場合でも、ログイン時は HTTPS で行われます。
- 

## 1.2.6 Web コンソールユーザの作成

装置で Web コンソールユーザを作成します。Web コンソールによる設定の詳細は QX-W1200 シリーズアクセスポイントオペレーションマニュアルの“1 はじめに”の“6 章 Web コンソールによるログイン”を参照してください。

# 装置にローカルユーザ **web** を作成します。

```
[QX-W1240]local-user web
New local user added.
```

# サービスタイプ **http** を追加し、ユーザロールを **network-admin** に設定します。

```
[QX-W1240-luser-manage-web]service-type http
[QX-W1240-luser-manage-web]authorization-attribute user-role network-admin
```

#パスワードを **admin12345** に設定します。

#設定を確認します。パスワードは暗号化されて登録されます。

```
[QX-W1240-luser-manage-web]password simple admin12345
[QX-W1240-luser-manage-web]%Jan 28 21:37:18:536 2022 QX-W1240
LS/5/LS_PWD_CHGPWD: The password of local device-management user web was
modified.
[QX-W1240-luser-manage-web]dis this
#
local-user web class manage
password hash $h$6$uBN3kh5d+Ty9c6Ub$VZZEwZ/9aZk+cA0XqQEzq3FYa7aIyBhewmu
ECWzalR9tv5k7RF/ABCa1LcClh2HaELt+oVDsn8tfh7UYz/fq+w==
service-type http
authorization-attribute user-role network-admin
authorization-attribute user-role network-operator
#
return
```

# 設定を保存します。

```
[QX-W1240-luser-manage-web]save
The current configuration will be written to the device. Are you sure? [Y/N]:y
Please input the file name(*.cfg) [flash:/startup.cfg]
(To leave the existing filename unchanged, press the enter key):
flash:/startup.cfg exists, overwrite? [Y/N]:y
Validating file. Please wait...
Configuration is saved to device successfully.
```

## 1.3 端末動作環境

### 1.3.1 オペレーティングシステム

本装置の Web コンソールは以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Windows 10/11
- Linux

### 1.3.2 ブラウザ

本装置の Web コンソールは以下のブラウザをサポートしています。

- 
- Microsoft Edge Chromium 版以降
  - Mozilla Firefox 4.0 以降
  - Google Chrome 10.0 以降
- 



**注意：**

- 本装置の Web コンソールは、ブラウザの“戻る”、“次へ”、“更新”などのボタンをサポートしていません。これらのボタンを使用すると、Web ページが表示されないなど、異常な状態になる可能性があります。
  - システムが STP (Spanning Tree) のトポロジ計算をしている間は、web コンソールで装置にログインすることができません。
  - Windows から接続できない場合、Windows ファイアウォールの設定を確認してください。
  - Web コンソールで装置のソフトウェアバージョンを変更する場合、キャッシュされたデータを削除するため、確認メッセージが表示される場合があります。
-

## 目次

<b>2 章 Web コンソールへの接続</b> .....	<b>2-1</b>
2.1 Web コンソールへのログイン .....	2-1
2.2 画面の概要 .....	2-4

## 2章 Web コンソールへの接続

### 2.1 Webコンソールへのログイン



**注意：**

端末の設定（PROXY サーバ、Firewall、セキュリティ）などにより、設定を変更しないと Web コンソールに接続できない場合があります。

- 1) PC 上のブラウザのアドレスバーに“http://装置の IP アドレス”を入力します。  
“http://192.168.1.191”を入力します。

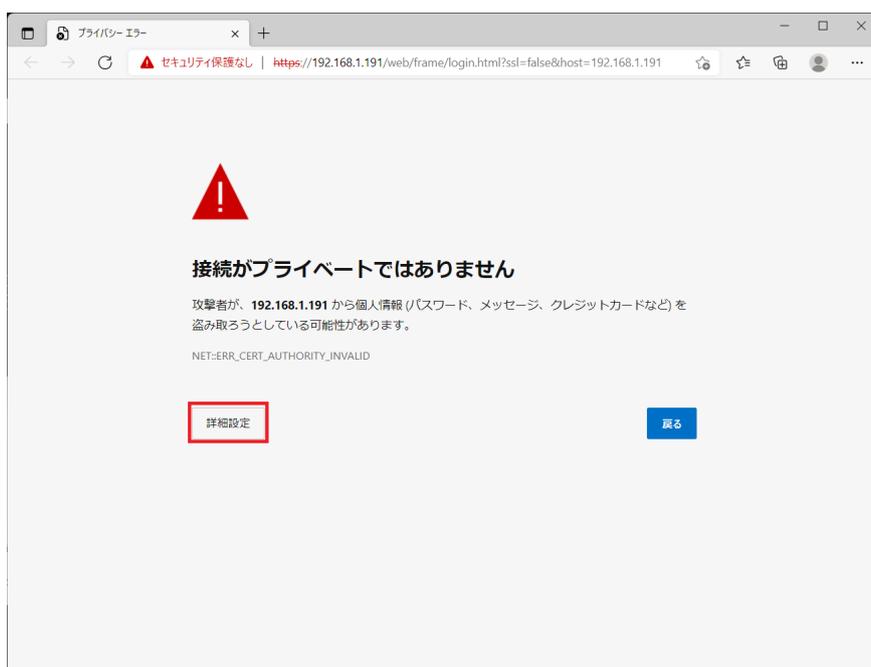


図 2-1 プライバシーエラー画面

Edge を使用してログインを行う場合は上記のような警告が表示される場合があります。

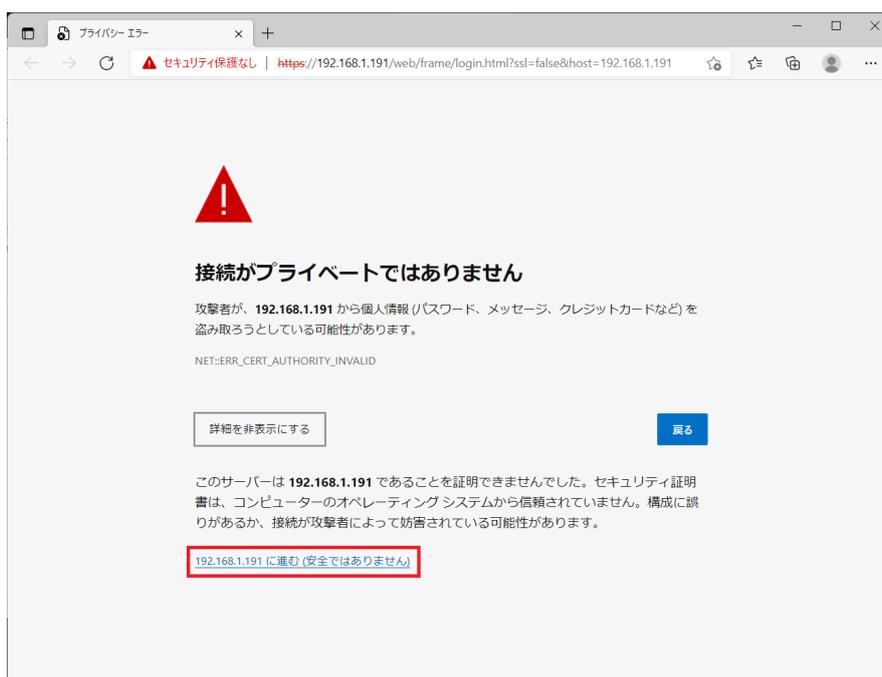


図 2-2 プライバシーエラー画面

[詳細設定]をクリックしてから表示されるリンクをクリックすることで、正常にログイン画面が表示されます。

---

 **注意：**

ログイン画面は、https にリダイレクトされますが、装置内で生成した自己証明書を用いているため、証明書のエラーが表示されます。  
強制的に表示をさせるように操作することでログイン画面が表示されます。

---

接続が完了するとログイン画面が表示されます。

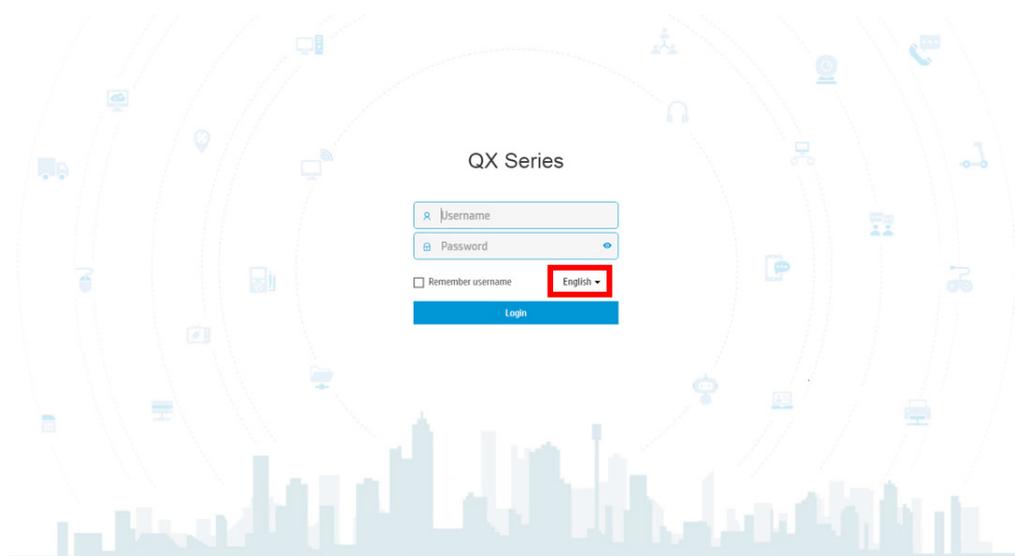


図 2-3 Web ログインページ

- 2) 図 2-1 に示す”English”をクリックすると言語選択が可能です。

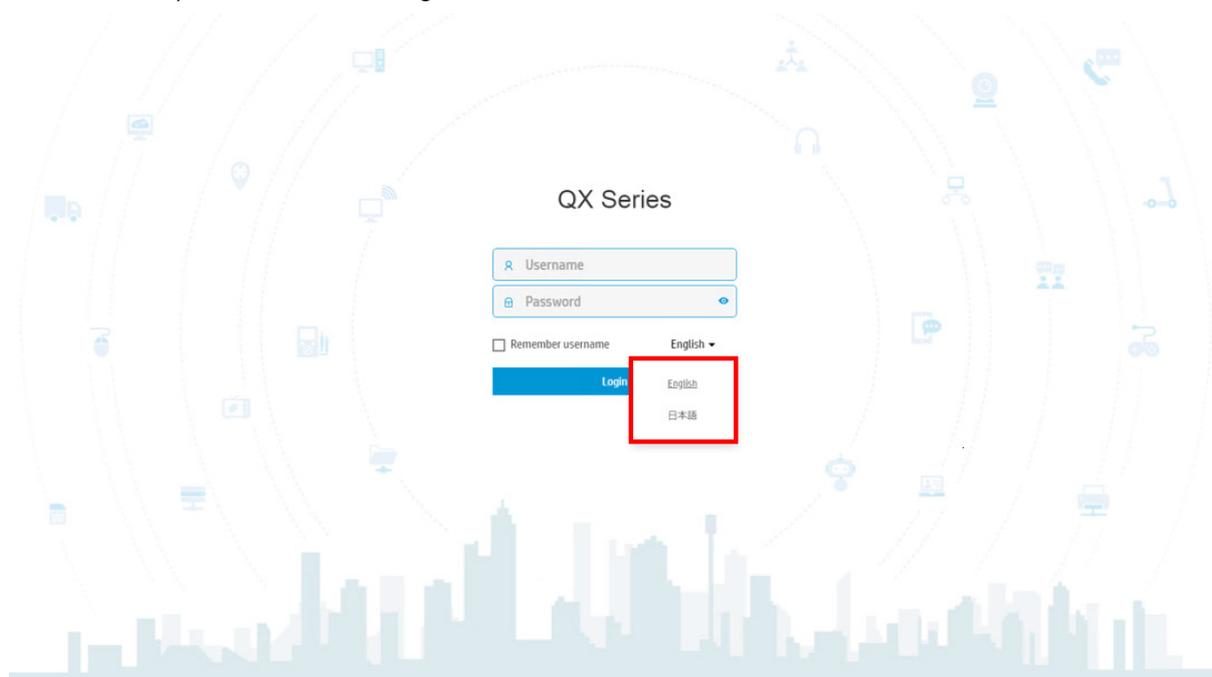


図 2-4 言語選択

- 3) 図 2-4 の日本語をクリックすると、以降の WEB 画面は日本語表示になります。言語選択はいつでも変更可能です。
- 4) ユーザ名 web、パスワード admin12345 を入力します。大文字、小文字を区別します。入力後、“ログイン”をクリックします。



図 2-5 ユーザー名、パスワードの入力

## 2.2 画面の概要



**注意：**

ログイン後、Web コンソール画面上でなにも操作しない場合、自動的にログアウトします。  
アイドルタイムアウト時間はデフォルトで 10 分です。

---

ログインすると以下のような画面を表示します。

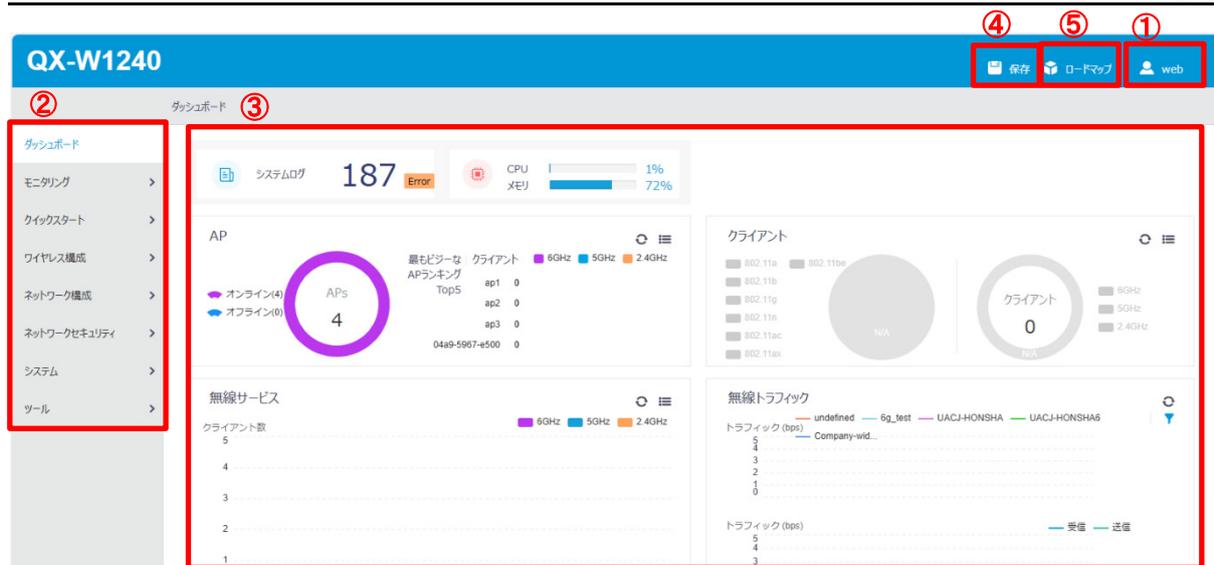


図 2-6 画面表示の概要

以下に画面上のアイコンの概要について記載します。詳細は各章を参照してください。

- 1) ログインしているユーザの情報を表示します。図 2-6 の①に示す  をクリックすると、パスワード変更とログアウトメニューのポップアップ画面が表示されます。
- 2) 設定を保存します。図 2-6 の④に示す  をクリックすると、図 2-7 に示すように現在の設定を保存するかどうかの確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックします。

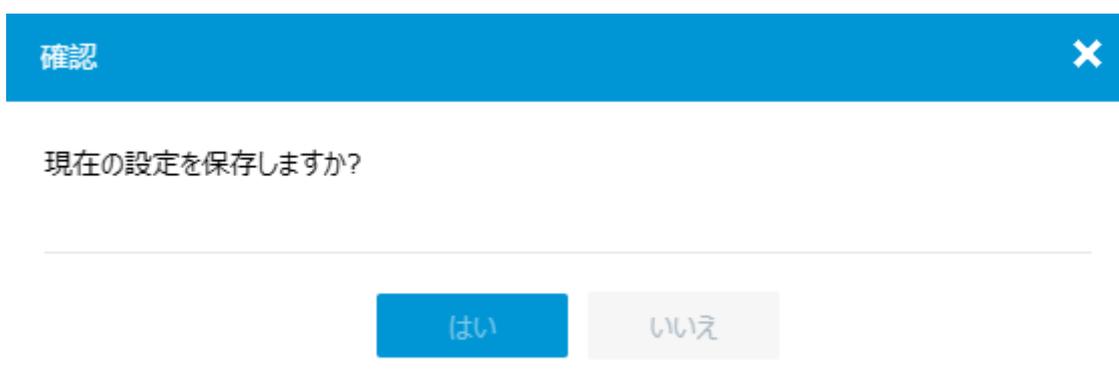


図 2-7 保存確認画面

- 3) Web コンソールからログアウトします。Web メニューから“ログアウト”をクリックすると、図 2-8 に示すように現在の設定を保存するかどうかの確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックすると Web ブラウザ画面が終了します。



A blue header bar with the text "確認" (Confirmation) on the left and a close icon "X" on the right. Below the header, the text "ログアウトしますか?" (Do you want to log out?) is displayed. At the bottom, there are two buttons: "はい" (Yes) in blue and "いいえ" (No) in light gray.

図 2-8 ログアウト確認画面

- 4) パスワードを変更します。web メニューから“パスワードの変更”をクリックすると、図 2-9 に示すようにパスワード変更の確認ダイアログが表示されます。“古いパスワードの入力”に古いパスワードを入力します。“新しいパスワードの入力”に新しいパスワードを入力し、“新しいパスワードの再入力”に再度新しいパスワードを入力します。“適用”をクリックすると、パスワードの変更が適用されます。



A blue header bar with the text "パスワードの変更" (Change Password) on the left and a close icon "X" on the right. Below the header, there are three input fields. The first field is labeled "古いパスワードの入力 \*" (Old Password Input) and has "(10-63文字)" (10-63 characters) below it. The second field is labeled "新しいパスワードの入力 \*" (New Password Input) and has "(10-63文字)" below it. The third field is labeled "新しいパスワードの再入力 \*" (New Password Re-input) and has "(10-63文字)" below it. At the bottom, there are two buttons: "適用" (Apply) in blue and "キャンセル" (Cancel) in light gray.

図 2-9 パスワード変更画面

- 5) 図 2-6 の⑤に示す  **ロードマップ** をクリックすると、図 2-10 に示すように設定、情報メニューの一覧を表示します。設定、情報メニューをクリックすると各設定、情報画面に移行し、画面中央に該当する内容を表示します。



図 2-10 ロードマップ画面

- 6) 図 2-6 の②は設定、情報メニューです。文字をクリックすると設定、情報メニューのサブ設定、情報メニューを表示します。サブ設定メニューをクリックすると各設定、情報画面に移行し、画面中央に該当する内容を表示します。
- 7) 図 2-6 の③は設定、情報画面を表示します。図 2-6 の例では設定、情報メニューは“ダッシュボード”です。概要情報が画面中央に表示されています。

## 目次

<b>3章 ダッシュボードメニュー</b> .....	<b>3-1</b>
3.1 システムログ .....	3-2
3.2 システム使用率 .....	3-5
3.3 AP .....	3-5
3.4 クライアント .....	3-6
3.5 無線サービス .....	3-6
3.6 無線トラフィック .....	3-6

## 3章 ダッシュボードメニュー

図 3-1 に示す設定メニューで“ダッシュボード”をクリックします。

図 3-2 に示すようなダッシュボードメニューが表示されます。システムログ、AP、無線サービス、システム使用率、クライアント、インターフェーストラフィックを表示します。ダッシュボードメニューの下部には表示選択、ステータス表示が表示されます。

システム表示 およびネットワーク表示で表示されるダッシュボードメニューの内容は同一です。



図 3-1 ダッシュボードメニューの選択

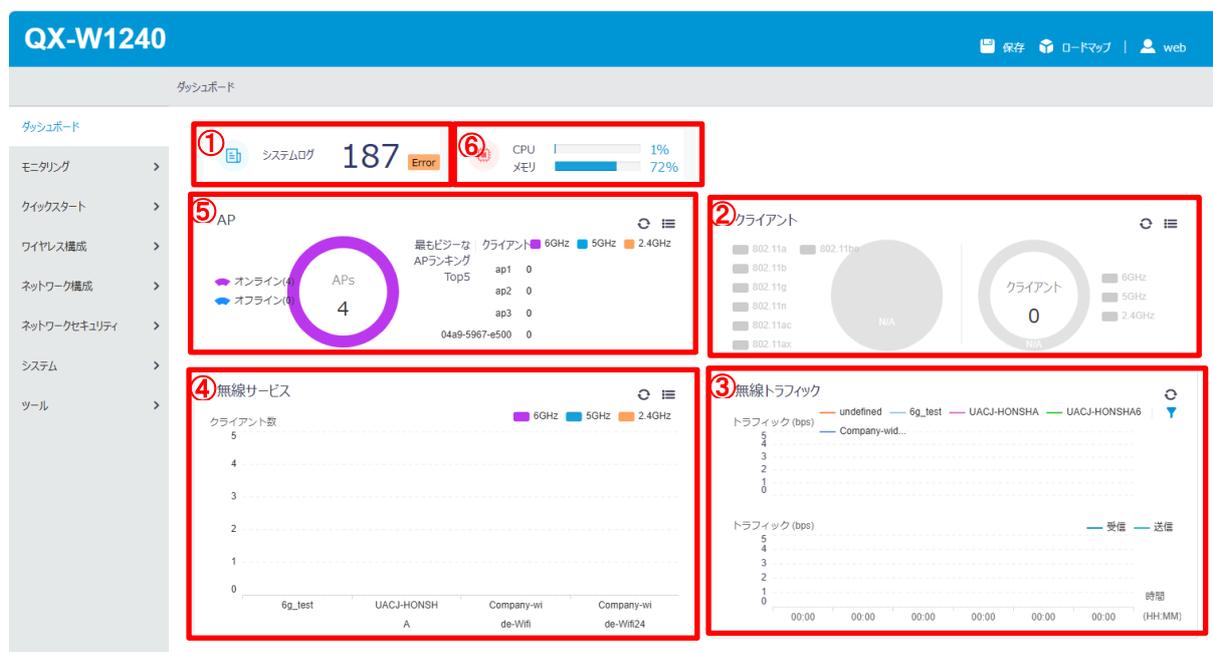


図 3-2 ダッシュボードメニュー

### 3.1 システムログ

図 3-2 の①はシステムログです。

図 3-2 の例では、重大レベルのログの数が表示されます。

“システムログ” をクリックすると、システムログを表示します。  
“ダッシュボード” をクリックするとダッシュボードメニューに戻ります。

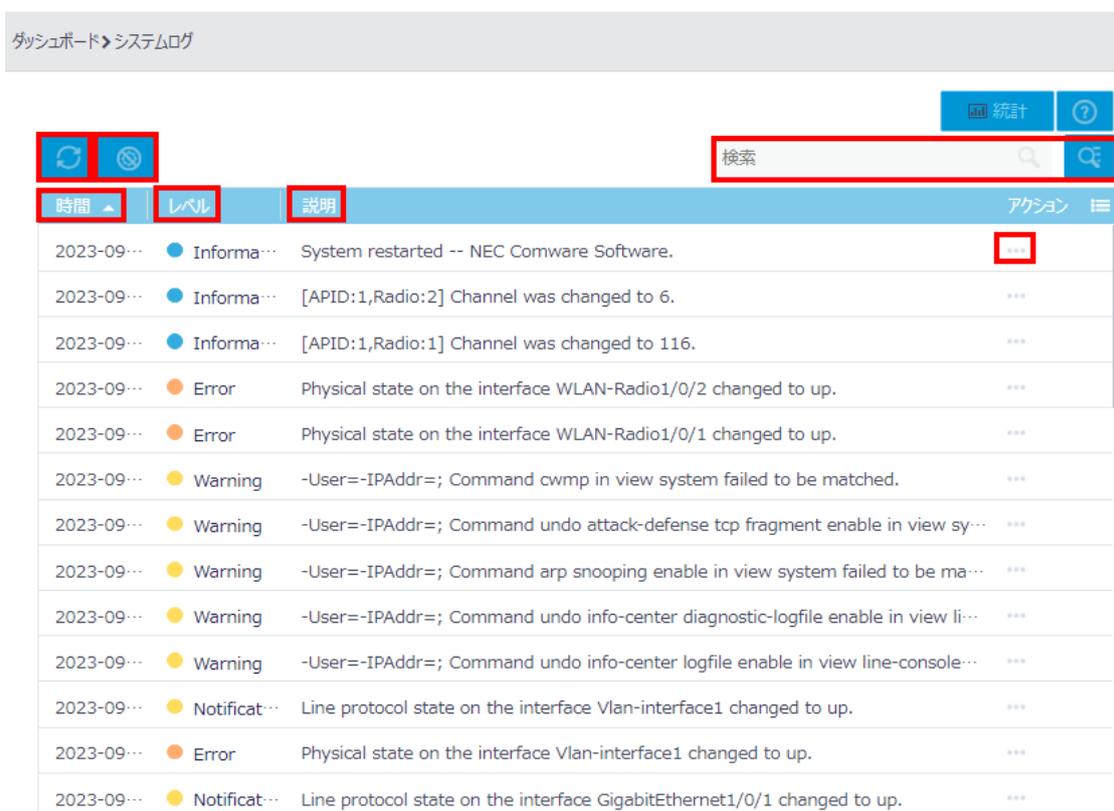


図 3-3 Syslog 情報画面

ログは重要度レベルごとに区分されます。

- Notification (緊急レベル)
- Warning (警告レベル)
- Error (重大レベル)
- Informational (情報レベル)

“時間”、“レベル”、“説明”をクリックすることで項目ごとにソートすることができます。

 をクリックすると、システムログの更新を行います。 をクリックするとすべてのシステムログを削除します。

システムログを検索することができます。検索したい文字列を“検索”に入力します。

 をクリックすることで、システムログの高度な検索を行うことができます。“時間”、“レベル”、“説明”を入力、選択します。“検索”をクリックします。図 3-4 にシステムログの高度な検索画面を表示します。

高度な検索

時間

レベル

説明

検索 リセット 閉じる

図 3-4 Syslog 情報の高度な検索

システムログの **...** をクリックすると図 3-5 に示すようなシステムログ詳細を表示します。

システムログ詳細

時間 2024-09-18 14:44:20

グループ IFNET

レベル 5

要約 LINK\_UPDOWN

説明 Line protocol state on the interface Vlan-interface2 changed to up.

Close

図 3-5 システムログの詳細

## 3.2 システム使用率

図 3-2 の例では、CPU 使用率：1%、メモリ使用率：72%であることを示します。

ダッシュボードメニューの“②”をクリックすると、図 3-6 のようなシステム使用率画面を表示します。

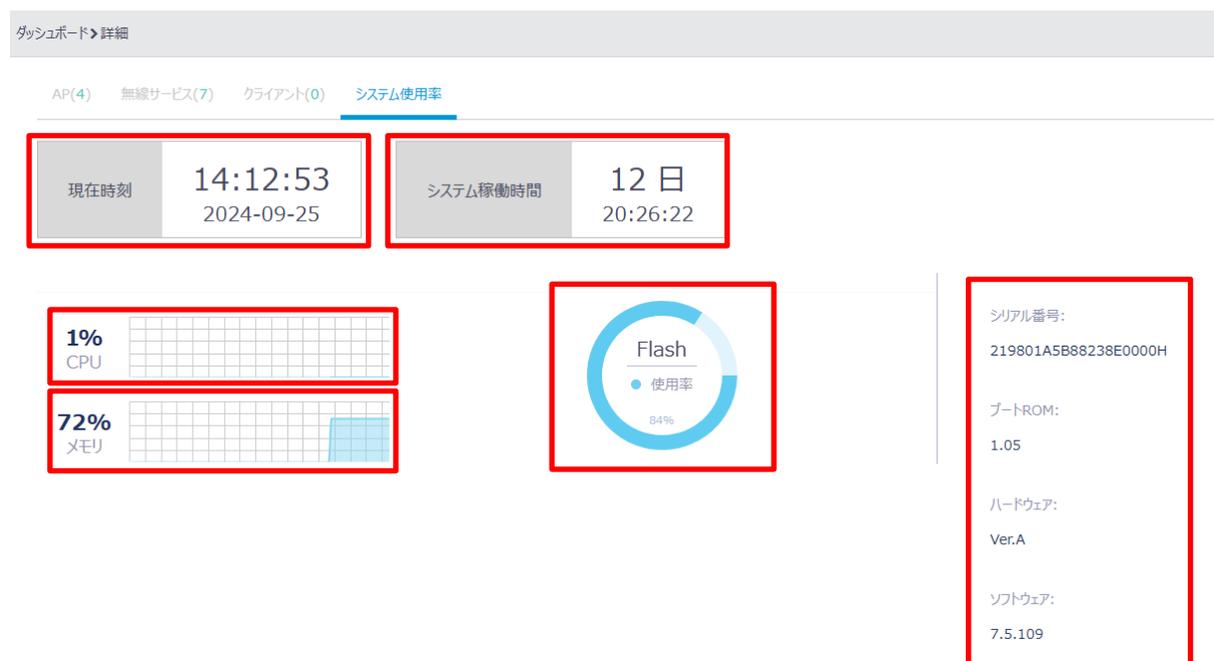


図 3-6 システム使用率画面

“ダッシュボード”をクリックするとダッシュボードメニューに戻ります。

画面上部に現在時刻、システム稼働時間が表示されます。

画面中央部左側に CPU 使用率、メモリ使用率が表示されます。

画面中央部にフラッシュメモリの使用率が表示されます。

画面右側に装置の情報が表示されます。

- シリアル番号
- ブート ROM バージョン
- 装置のハードウェアバージョン
- システムソフトウェアバージョン

## 3.3 AP

図 3-2 の③に示すダッシュボードメニューの“AP”には、装置に接続した AP の状態が表示されます。

## 3.4 クライアント

図 3-2 の④はクライアントです。

“クライアント”には、接続したクライアント数が表示されます。

## 3.5 無線サービス

図 3-2 の⑤は無線サービスです。

図 3-2 に示すダッシュボードメニューの“無線サービス”には、無線、SSID の状態が表示されます。

## 3.6 無線トラフィック

図 3-2 の⑥は無線トラフィックです。

図 3-2 に示すダッシュボードメニューの“無線トラフィック”には、無線のトラフィックの状態が表示されます。

## 目次

<b>4 章 ネットワーク構成メニュー</b> .....	<b>4-1</b>
4.1 インタフェースの設定、表示 .....	4-2
4.1.1 インタフェースの設定、表示 .....	4-2
4.1.2 リンクアグリゲーションの設定、表示 .....	4-8
4.2 リンクの設定、表示.....	4-10
4.2.1 VLAN の設定、表示.....	4-10
4.3 ルーティングの設定、表示.....	4-15
4.3.1 ルーティングテーブルの設定、表示.....	4-15
4.3.2 スタティックルーティングの設定、表示 .....	4-17
4.4 ネットワークサービスの設定、表示 .....	4-21
4.4.1 IP サービスの設定、表示 .....	4-21
4.4.2 マルチキャストの設定、表示 .....	4-23

## 4章 ネットワーク構成メニュー

図 4-1 に示すシステム表示での設定メニューで“ネットワーク構成”をクリックします。  
図 4-2 に示すようなサブメニューが表示されます。



図 4-1 ネットワーク構成メニューの選択

ネットワークインタフェース	インタフェース	リンクアグリゲーション					
リンク	VLAN	MAC	STP				
ネットワークルーティング	ルーティングテーブル	スタティックルーティング					
IP	IP	ARP	IPv4 DNS				
IPv6	IPv6	ND	IPv6 DNS				
マルチキャスト	IGMPSnooping	MLDSnooping					
マネージメントプロトコル	DHCP	HTTP/HTTPS	Telnet	SSH	NTP	LLDP	

図 4-2 ネットワーク構成サブメニュー

---

**メモ：**

QX-W1240 は ipv6 をサポートしていません。

---

## 4.1 インタフェースの設定、表示

### 4.1.1 インタフェースの設定、表示

#### 1. インタフェースの表示

サブメニューで“ネットワークインタフェース”を選択します。図 4-3 に示すようなインタフェースのリストが表示されます。“すべてのインタフェース”でインタフェースの種類を選択することができます。

 をクリックすると、インタフェース情報の更新を行います。

ネットワーク構成 > ネットワークインタフェース > インタフェース

インタフェース 統計

🔄 すべてのインタフェース  🔍 🔍

<input type="checkbox"/>	インタフェース ▲	ステータス	IPアドレス	速度(Kbps)	通信モード	説明	アクション
<input type="checkbox"/>	GE1/0/2	Up	-- --	1000000	全二重	GigabitEthernet1/0/2 Interface	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	InLoop0	Up	127.0.0.1/255.0.0.0 --			InLoopBack0 Interface	
<input type="checkbox"/>	NULL0	Up	-- --			NULL0 Interface	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Vlan1	Up	10.6.6.60/255.255.255.0 --			Vlan-interface1 Interface	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Vlan2	Up	10.5.5.61/255.255.255.0 --			Vlan-interface2 Interface	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	WLAN-Radio1/0/1	Up	-- --			WLAN-Radio1/0/1 Interface	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	WLAN-Radio1/0/2	Up	-- --			WLAN-Radio1/0/2 Interface	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	WLAN-Radio1/0/3	Up	-- --			WLAN-Radio1/0/3 Interface	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	XGE1/0/1	Up	-- --	10000000	全二重	Ten-GigabitEthernet1/0/1 Interface	<input type="checkbox"/>

合計 9 エントリ, 9 一致, 0 選択. ページ 1 / 1.

図 4-3 インタフェースリスト画面

## II. インタフェースの検索

インタフェースを検索することができます。インタフェースのリスト画面で、GE1/0/1 など検索したい項目を“検索”に入力します。

インタフェースのリスト画面で  をクリックすることで、インタフェースの高度な検索を行うことができます。図 4-4 にインタフェースの高度な検索画面を表示します。

- 1) “インタフェース”、“ステータス”、“IP アドレス”、“速度 (Kbps)”、“通信モード”、“説明”を選択、入力します。
- 2) “検索”をクリックします。

高度な検索✕

インタフェース	<input type="text"/>
ステータス	<input type="text" value="▼"/>
IPアドレス	<input type="text"/>
速度(Kbps)	<input type="text"/>
通信モード	<input type="text" value="▼"/>
説明	<input type="text"/>

🔍 検索   リセット   閉じる

図 4-4 インタフェースの高度な検索

### III. インタフェースの設定

をクリックするとインタフェースの設定を行うことができます。図 4-5 にインタフェースの設定画面を表示します。

“インタフェース” をクリックすると、インタフェースリスト画面に戻ります。

- 1) “ステータス”、“説明”、“MAC アドレス”、“リンクタイプ”、“PVID”、“リンク速度”、“デュプレックス”、“帯域幅”、“リンクモード”、“ジャンボフレーム”、“BPDU インターセプト”、“フロー制御”、“ブロードキャストの抑制”、“マルチキャスト抑制”、“unknown ユニキャストの抑制” を選択、入力します。
- 2) 設定後、“適用” をクリックします。

ネットワーク構成 > ネットワークインタフェース > インタフェース > インタフェースを編集

インタフェース  
ステータス ⚠  
説明  
MACアドレス  
VLAN  
リンク速度  
デュプレックス  
帯域幅  
リンクモード  
ジャンプフレーム ⚠  
BPDUインターセプト  
フロー制御  
トラフィック抑制

**Ten-GigabitEthernet1/0/1 (XGE1/0/1)**  
 アップ  シャットダウン

Ten-GigabitEthernet1/0/1 Interface (1-255文字)

04-A9-59-67-E5-00 (HH-HH-HH-HH-HH-HH)

リンクタイプ  
Trunk ⚠

PVID  
1 ⚠

許可VLANリスト  
1,4 (1-4094,例:3,5,10-100)

(現在:10000000Kbps)  
Auto

(現在: Full)  
Auto ⚠

(現在: 10000000kbit/s)  
(1-40000000)kbit/s

ブリッジ  ルート ⚠  
 無効  
 1600 (1600-1600)

BPDUインターセプトを有効にする  
無効 ⚠

ブロードキャストの抑制 ⚠  
ratio 100

マルチキャスト抑制 ⚠  
ratio 100

unknownユニキャストの抑制 ⚠  
ratio 100

図 4-5 インタフェースの設定

#### IV. インタフェースの統計情報

図 4-3 インタフェースリスト画面で“統計”をクリックすると、図 4-6 に示すようなインタフェースの統計情報を表示します。

“インタフェース”、“説明”、“受信パケット数”、“受信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の受信パケット数”、“受信破棄パケット数”、“受信エラーパケット数”、“未知プロトコルの受信パケット数”、“受信レート(MB/s)”、“送信パケット数”、“送信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の送信パケット数”、“送信破棄パケット数”、“送信エラーパケット数”、“送信レート(MB/s)”、“最新の消去時間”の情報を表示することができます。

インタフェース	説明	受信ユニキャスト...	ユニキャスト以外...	受信破棄パケ...	受信レート(M...	送信ユニキャスト...	ユニキャスト以外...	送信破棄パケ...	送信レート(M...	アクション
GE1/0/2	GigabitEt...	8837	15963	0	0.002	18778	68	0	0	🗑️
NULL0	NULL0 In...	0		0	0	0		0	0	🗑️
Vlan1	Vlan-inter...	0	0	0	0.002	0	0	0	0.001	🗑️
Vlan2	Vlan-inter...	0	0	0	0.004	0	0	0	0.006	🗑️
WLAN-Ra...	WLAN-Ra...	0	0	0	0	0	0	0	0	🗑️
WLAN-Ra...	WLAN-Ra...	0	0	0	0	0	0	0	0	🗑️
WLAN-Ra...	WLAN-Ra...	0	0	0	0	0	0	0	0	🗑️
XGE1/0/1	Ten-Giga...	1428330	443959	0	0.002	1428366	555990	0	0.001	🗑️

合計 8 エントリ, 8 一致, 0 選択 ページ 1 / 1 .

図 4-6 インタフェースの統計情報

#### V. インタフェースの統計情報の検索

インタフェースの統計情報を検索することができます。インタフェースの統計情報画面で検索したいインタフェースを“検索”に入力します。

🔍 をクリックすることで、インタフェースの高度な検索を行うことができます。“インタフェース”、“説明”、“受信パケット数”、“受信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の受信パケット数”、“受信破棄パケット数”、“受信エラーパケット数”、“未知プロトコルの受信パケット数”、“受信レート(MB/s)”、“送信パケット数”、“送信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の送信パケット数”、“送信破棄パケット数”、“送信エラーパケット数”、“送信レート(MB/s)”、“最新の消去時間”を選択します。“検索”をクリックします。

図 4-7 にインタフェースの統計情報の高度な検索画面を表示します。

高度な検索

インタフェース

説明

受信パケット数

受信ユニキャストパケット数

ユニキャスト以外の受信パケット数

受信破棄パケット数

受信エラーパケット数

未知プロトコルの受信パケット数

受信レート(MB/s)

送信パケット数

...

Q検索

リセット

閉じる

図 4-7 インタフェースの統計情報の高度な検索

## VI. インタフェースの統計情報の削除

インタフェースの  をクリックし、**クリア** をクリックするとすべてのインタフェースの統計情報を 0 にします。

インタフェースの統計情報画面で  をクリックすると指定したインタフェースの統計情報を 0 にします。

図 4-8 に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。



図 4-8 インタフェースの統計情報の削除

## 4.1.2 リンクアグリゲーションの設定、表示

### 1. リンクアグリゲーションの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークインタフェース”を選択し、“リンクアグリゲーション”をクリックします。図 4-9 に示すようなリンクアグリゲーションのリスト画面が表示されます。

 をクリックすると、リンクアグリゲーション情報の更新を行います。

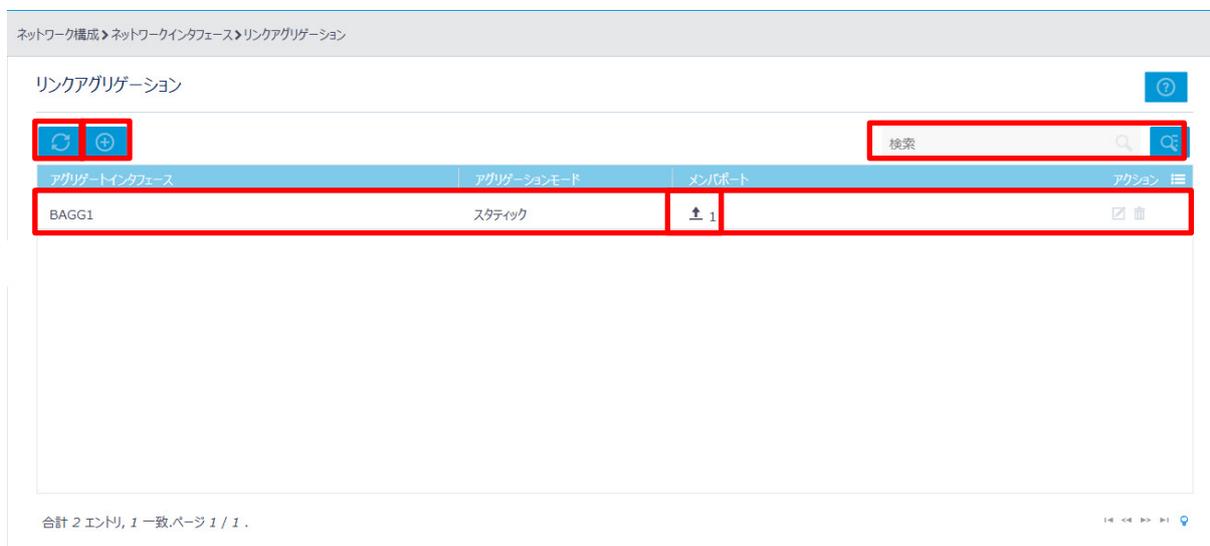


図 4-9 リンクアグリゲーションの表示

リンクアグリゲーションにメンバポートが割り当てられている場合、メンバポートに  が表示されます。  をクリックすると該当するリンクアグリゲーションのメンバポートが表示されます。図 4-10 にメンバポートを表示します。



図 4-10 メンバポートの表示

## II. リンクアグリゲーションの検索

リンクアグリゲーションを検索することができます。リンクアグリゲーションのリスト画面で検索したい項目を入力します。

 をクリックすることで、リンクアグリゲーションの高度な検索を行うことができます。“アグリゲーションインタフェース”、“アグリゲーションモード”、“メンバポート”を選択、入力し、“検索”をクリックします。図 4-11 にリンクアグリゲーションの高度な検索画面を表示します。



図 4-11 リンクアグリゲーションの高度な検索

## III. リンクアグリゲーションの追加

リンクアグリゲーションのリスト画面で  をクリックすると、リンクアグリゲーションを作成します。

- 1) 図 4-12 に示すように“アグリゲーションインタフェース番号”、“アグリゲーションモード”、“メンバポート”を選択、入力します。
- 2) “適用”をクリックします。

ネットワーク構成 > ネットワークインタフェース > リンクアグリゲーション > 新しいリンクアグリゲーショングループ

アグリゲートインタフェースタイプ \*

アグリゲートインタフェース番号 \*  (1-1)

アグリゲーションモード \*

メンバーポート

図 4-12 リンクアグリゲーションの追加

#### IV. リンクアグリゲーションの削除

 をクリックするとリンクアグリゲーションを削除します。図 4-13 に示すような確認ダイアログが表示されます。削除するには“はい”をクリックします。

確認 ×

選択した項目を削除しますか?

図 4-13 リンクアグリゲーションの削除

## 4.2 リンクの設定、表示

### 4.2.1 VLAN の設定、表示

#### I. VLAN の表示

ネットワーク構成サブメニューで“VLAN”を選択します。VLAN リストが表示されます。

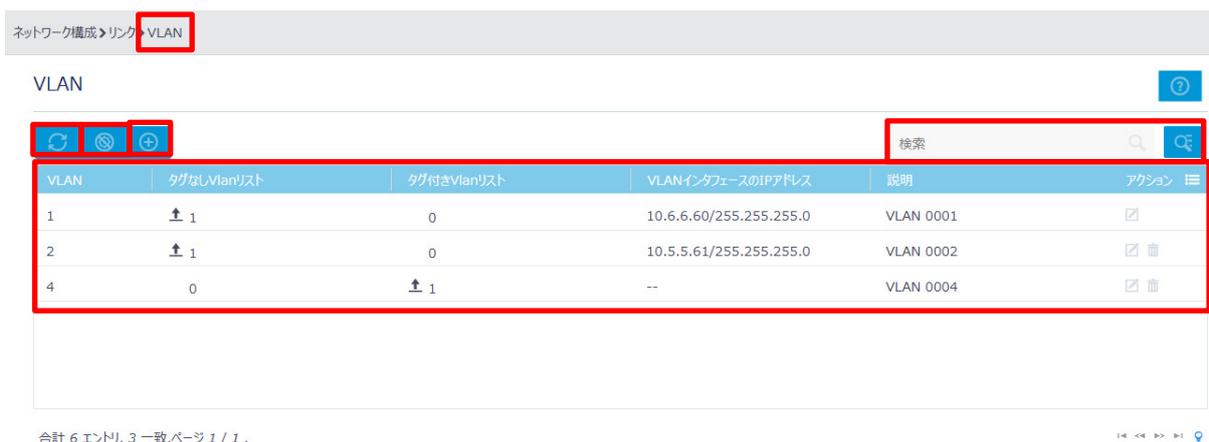


図 4-14 VLAN リストの表示

VLAN にポートが割り当てられている場合、ポートリストに ↑ が表示されます。↑ をクリックすると該当するポートが表示されます。図 4-15 にタグなし VLAN リストおよびタグ付き VLAN リストを表示します。

VLAN リストで  をクリックすると、VLAN 情報の更新を行います。

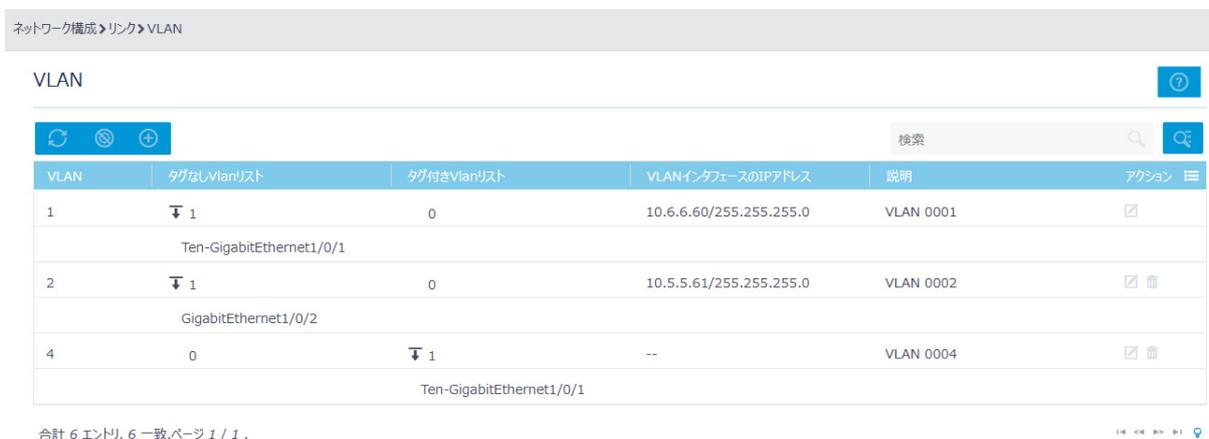


図 4-15 タグなし VLAN リストおよびタグ付き VLAN リスト

## II. VLAN の検索

VLAN を検索できます。VLAN リストで検索したい項目を“検索”に入力します。

 をクリックすることで、VLAN の高度な検索を行うことができます。“VLAN”、“タグなし Vlan リスト”、“タグ付き Vlan リスト”、“VLAN インタフェースの IP アドレス”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 4-16 に VLAN の高度な検索画面を表示します。

高度な検索

VLAN

タグなしVlanリスト

タグ付きVlanリスト

VLANインタフェースのIPアドレス

説明

検索 リセット 閉じる

図 4-16 VLAN の高度な検索

### III. VLAN の削除

VLAN リストで  をクリックすると VLAN を削除します。図 4-17 に示すように削除する VLAN を指定し、“適用” をクリックします。

VLAN の行から削除することもできます。  をクリックすると指定した VLAN を削除します。図 4-18 に示すような確認ダイアログが表示されます。

VLANリストの削除

VLANリスト \*

(2-4094、例:3,5,10-100)

適用 キャンセル

図 4-17 VLAN の削除



図 4-18 指定 VLAN の削除

#### IV. VLAN の追加

VLAN リストで  をクリックすると、VLAN を作成します。図 4-19 に示すように追加する VLAN を指定し、“適用” をクリックします。



図 4-19 VLAN の追加

## V. VLAN の変更

をクリックすると VLAN の編集を行うことができます。図 4-20 に VLAN の変更画面を表示します。



VLAN ID: 1

説明: VLAN 0001 (1~255文字)

VLAN インタフェースの IP アドレス:  VLAN インタフェースの作成

IPv4 アドレス/マスク: 192.168.1.1 / 255.255.255.0

適用    キャンセル

図 4-20 VLAN の変更画面

## VI. VLAN の説明の設定

図 4-20 に示すように VLAN の変更画面で VLAN の説明を“説明”に入力します。“適用”をクリックします。

## VII. VLAN インタフェースの IP アドレスの設定

図 4-20 に示すように VLAN の変更画面で“VLAN インタフェースの作成”を選択します。

“IPv4 アドレス/マスク”に IP アドレス、マスクを入力します。

“適用”をクリックします。

## 4.3 ルーティングの設定、表示

### 4.3.1 ルーティングテーブルの設定、表示

#### 1. ルーティングテーブルの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークルーティング”を選択します。“ルーティングテーブル”をクリックします。図 4-21 に示すように、スタティックルーティングの数が表示されます。

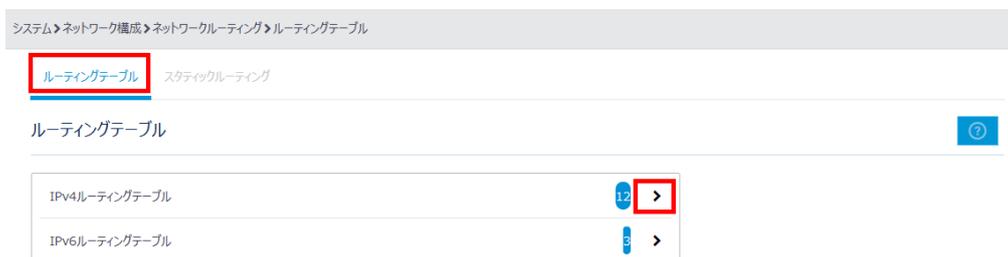


図 4-21 ルーティングテーブルの数

“IPv4 ルーティングテーブル”の > をクリックすると、図 4-22 に示すようなルーティングテーブルが表示されます。

IPv4ルーティングテーブル 統計

宛先 ▲	マスク長	プロトコル	プリファレンス	ネクストホップ	インタフェース	
0.0.0.0	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
127.0.0.0	8	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
127.0.0.0	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
127.0.0.1	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
127.255.255.255	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
192.168.1.0	24	Direct	0	192.168.1.1	Vlan1	
192.168.1.0	32	Direct	0	192.168.1.1	Vlan1	
192.168.1.1	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
192.168.1.255	32	Direct	0	192.168.1.1	Vlan1	
224.0.0.0	4	Direct	0	0.0.0.0	NULL0	
224.0.0.0	24	Direct	0	0.0.0.0	NULL0	
255.255.255.255	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	

合計 12 エントリ, 12 一致, ページ 1 / 1 . ◀ ▶ 🔍

図 4-22 ルーティングテーブル

ルーティングテーブルで をクリックすると、ルーティングテーブル情報の更新を行います。

## II. ルーティングテーブルの検索

ルーティングテーブルを検索することができます。検索したいルーティングテーブルを“Search”に入力します。

をクリックすることで、ルーティングテーブルの高度な検索を行うことができます。“宛先”、“マスク長”、“プロトコル”、“プリファレンス”、“ネクストホップ”、“インタフェース”を選択、入力します。“検索”をクリックします。図 4-23 にルーティングテーブルの高度な検索画面を表示します。

高度な検索

宛先

マスク長

プロトコル

プリファレンス

ネクストホップ

インタフェース

検索

リセット

閉じる

図 4-23 ルーティングテーブルの高度な検索

## 4.3.2 スタティックルーティングの設定、表示

### 1. スタティックルーティングの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークルーティング”を選択します。“スタティックルーティング”をクリックします。図 4-24 に示すように、スタティックルーティングの数が表示されます。



図 4-24 スタティックルーティングの数

“IPv4 スタティックルーティング”の右向き矢印アイコンをクリックすると、図 4-25 に示すようなスタティックルーティングのリストを表示します。



図 4-25 スタティックルーティングのリスト

スタティックルーティングのリストでリフレッシュアイコンをクリックすると、スタティックルーティング情報の更新を行います。

## II. ルーティングテーブルの検索

スタティックルーティングを検索することができます。検索したいスタティックルーティングを“検索”に入力します。

検索アイコンをクリックすることで、ルーティングテーブルの高度な検索を行うことができます。“宛先”、“マスク長”、“プリファレンス”、“ネクストホップ”、“インタフェース”、“タグ”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 4-26 にスタティックルーティングの高度な検索画面を表示します。

高度な検索✕

宛先	<input type="text"/>
マスク長	<input type="text"/>
プリファレンス	<input type="text"/>
ネクストホップ	<input type="text"/>
インタフェース	<input type="text"/>
タグ	<input type="text"/>
説明	<input type="text"/>

🔍 検索 リセット 閉じる

図 4-26 スタティックルーティングの高度な検索

### III. スタティックルーティングの追加

スタティックルーティングで  をクリックすると、スタティックルーティングを作成します。

- 1) 図 4-27 に示すように“送信先 IP アドレス”、“マスク長”、“ネクストホップ”、“プリファレンス”、“タグ”、“説明”を選択、入力します。
- 2) “適用”をクリックします。

VRF: パブリックネットワーク

送信先IPアドレス \*

マスク長 \* (0-32)

ネクストホップ \*  ネクストホップVRF  
 出力インタフェース  
選択

ネクストホップIPアドレス

プリファレンス (1-255)

タグ (0-4294967295,0 (デフォルト))

説明 (1-60文字)

適用 キャンセル

図 4-27 スタティックルーティングの追加

#### IV. スタティックルーティングの削除

スタティックルーティングのリストで  をクリックするとスタティックルーティングを削除します。図 4-28 に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。

確認

選択した項目を削除しますか?

はい いいえ

図 4-28 スタティックルーティングの削除

## 4.4 ネットワークサービスの設定、表示

“ネットワーク構成”を選択します。図 4-29 に示すようなサブメニューが表示されます。

ネットワークインタフェース	インタフェース	リンクアグリゲーション					
リンク	VLAN	MAC	STP				
ネットワークルーティング	ルーティングテーブル	スタティックルーティング					
IP	IP	ARP	IPv4 DNS				
IPv6	IPv6	ND	IPv6 DNS				
マルチキャスト	IGMPSnooping	MLDSnooping					
マネージメントプロトコル	DHCP	HTTP/HTTPS	Telnet	SSH	NTP	LLDP	

図 4-29 ネットワークサービスサブメニューの表示

### 4.4.1 IP サービスの設定、表示

#### I. IP の設定、表示

ネットワークサービスサブメニューの“IP”を選択します。図 4-30 に示すように、IP のリストが表示されます。

インタフェース	ステータス	IPアドレス	説明	アクション
InLoopBack0	up	--/255.0.0.0	InLoopBack0 Interface	
Vlan-interface1	up	192.168.6.30/255.255.255.0	Vlan-interface1 Interface	

図 4-30 IP リストの表示

 をクリックすると、IP リストの更新を行います。

## II. IP の検索

IP を検索できます。IP リストで検索したい項目を“検索”に入力します。

 をクリックすることで、IP の高度な検索を行うことができます。“インターフェース”、“ステータス”、“IP アドレス”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 4-31 に IP の高度な検索画面を表示します。



高度な検索

インターフェース

ステータス

IPアドレス

説明

Q検索 リセット 閉じる

図 4-31 IP の高度な検索

## III. IP の削除

 をクリックすると指定した IP を削除します。図 4-32 に示すような確認ダイアログが表示されます。



確認

選択した項目を削除しますか?

はい いいえ

図 4-32 指定 IP の削除

## IV. IP の追加

IP リストで  をクリックすると、IP を作成します。図 4-33 に示すような画面で追加する IP を指定し、“Apply” をクリックします。



図 4-33 IP の追加

## 4.4.2 マルチキャストの設定、表示

### I. IGMP snooping の有効化

ネットワークサービスサブメニューで“マルチキャスト”の“IGMP snooping”をクリックします。“IGMP snooping を有効にする”をクリックし、有効にします。

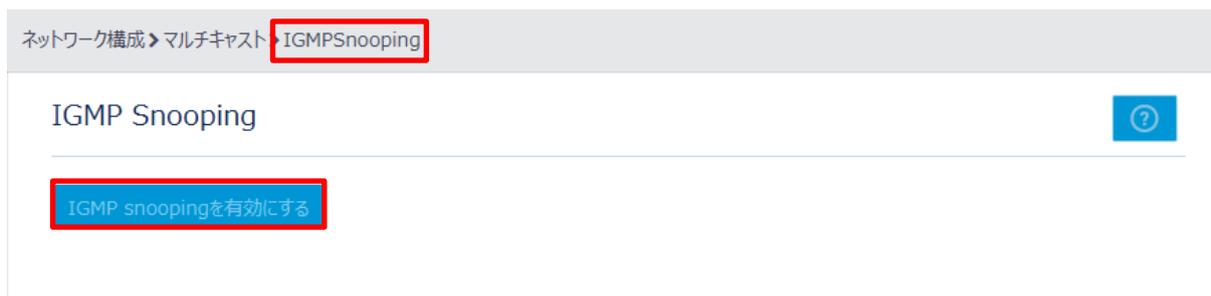


図 4-34 IGMP snooping の有効化

## II. IGMP snooping の表示

IGMP snooping を有効にした場合、図 4-35 に示すような IGMP snooping のリスト画面が表示されます。

IGMP snooping のリスト画面で  をクリックした場合、IGMP snooping が無効になります。

 をクリックすると、IGMP snooping のリストの更新を行います。

“VLAN”、“エントリ” をクリックすることで、それぞれ選択が可能です。図 4-35 示すのは“VLAN” 選択時の表示です。図 4-36 に示すのは“エントリ” 選択時の表示です。



図 4-35 IGMP snooping のリスト（VLAN 選択時）



図 4-36 IGMP snooping のリスト（エントリ選択時）

### III. IGMP snooping の検索

IGMP snooping を検索することができます。IGMP snooping のリスト画面で検索したい項目を“検索”に入力します。

IGMP snooping のリスト画面で  をクリックすると、リンクアグリゲーションの高度な検索を行うことができます。

図 4-37 に示すのは  選択時の高度な検索画面です。“VLAN”、“IGMP snooping version”を入力します。“Search”をクリックします。



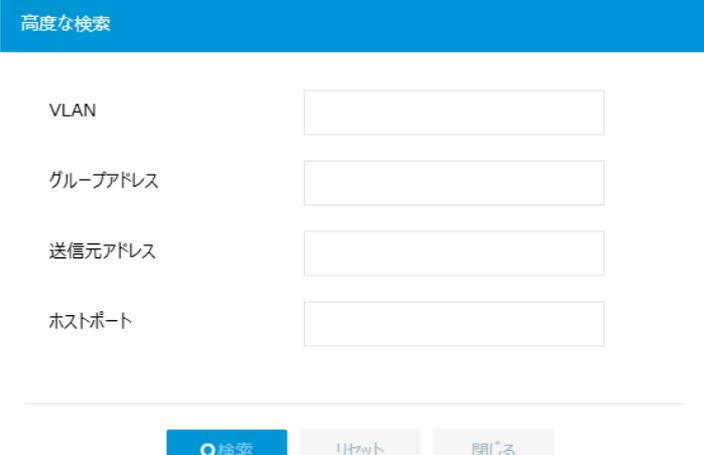
高度な検索

VLAN

IGMP snoopingのバージョン

図 4-37 IGMP snooping の高度な検索（VLAN 選択時）

図 4-38 に示すのは  選択時の高度な検索画面です。“VLAN”、“グループアドレス”、“送信元アドレス”、“ホストポート”を入力します。“検索”をクリックします。



高度な検索

VLAN

グループアドレス

送信元アドレス

ホストポート

図 4-38 IGMP snooping の高度な検索（エンリ選択時）

#### IV. VLAN での IGMP snooping の有効化

IGMP snooping のリスト画面で  をクリックすると、VLAN で IGMP snooping を有効にします。

- 1) 図 4-39 に示すように“VLAN”、“IGMP snooping のバージョン”、“不明なマルチキャストデータの削除”、“IGMP クエリアとして動作する”、“IGMP general クエリの間隔”、“IGMP general クエリの送信元 IP アドレス”、“IGMP グループ固有のクエリの送信元 IP アドレス”を選択、入力します。
- 2) “適用” をクリックします。

ネットワーク構成 > マルチキャスト > IGMP Snooping > VLANでのIGMP Snoopingの有効化

VLAN *	<input type="text"/>	(1-4094)
IGMP snoopingのバージョン	<input type="text" value="2"/>	▼ 
不明なマルチキャストデータの削除	<input type="checkbox"/> 不明なマルチキャストデータの削除を有効にする	
IGMP クエリアとして動作する	<input type="checkbox"/> IGMPクエリアの有効化	
IGMP generalクエリの間隔	<input type="text"/>	秒 (2-31744、デフォルトでは125)
IGMP generalクエリの送信元IPアドレス	<input type="text"/>	
IGMPグループ固有のクエリの送信元IPアドレス	<input type="text"/>	

図 4-39 VLAN での IGMP snooping の有効化

## 目次

<b>5章 System メニュー</b> .....	<b>5-1</b>
5.1 システムログ .....	5-2
5.1.1 システムログの表示 .....	5-2
5.1.2 システムログの検索 .....	5-3
5.1.3 システムログの削除 .....	5-4
5.2 ファイルの管理 .....	5-4
5.2.1 ファイルの表示 .....	5-4
5.2.2 ファイルの検索 .....	5-5
5.2.3 ファイルの削除 .....	5-6
5.2.4 ファイルのアップロード .....	5-6
5.3 ユーザ設定 .....	5-7
5.3.1 ユーザリストの表示 .....	5-7
5.3.2 ユーザリストの検索 .....	5-7
5.3.3 ユーザの編集・削除・追加 .....	5-8
5.4 装置管理 .....	5-10
5.4.1 装置情報、システムクロックの設定 .....	5-10
5.4.2 設定ファイルの管理 .....	5-13
5.4.3 ソフトウェアのアップグレード .....	5-16
5.4.4 装置の再起動 .....	5-17
5.4.5 装置情報 .....	5-19

## 5章 System メニュー

図 5-1 に示すシステム表示での設定メニューで“システム”をクリックします。図 5-2 に示すようなサブメニューが表示されます。



図 5-1 システムメニューの選択

ログ	イベントログ	設定
リソース	時間範囲	
ファイルシステム	ファイルシステム管理	
装置管理	管理者	設定
	設定ファイル	アップグレード
	再起動	について

図 5-2 システムサブメニュー

## 5.1 システムログ

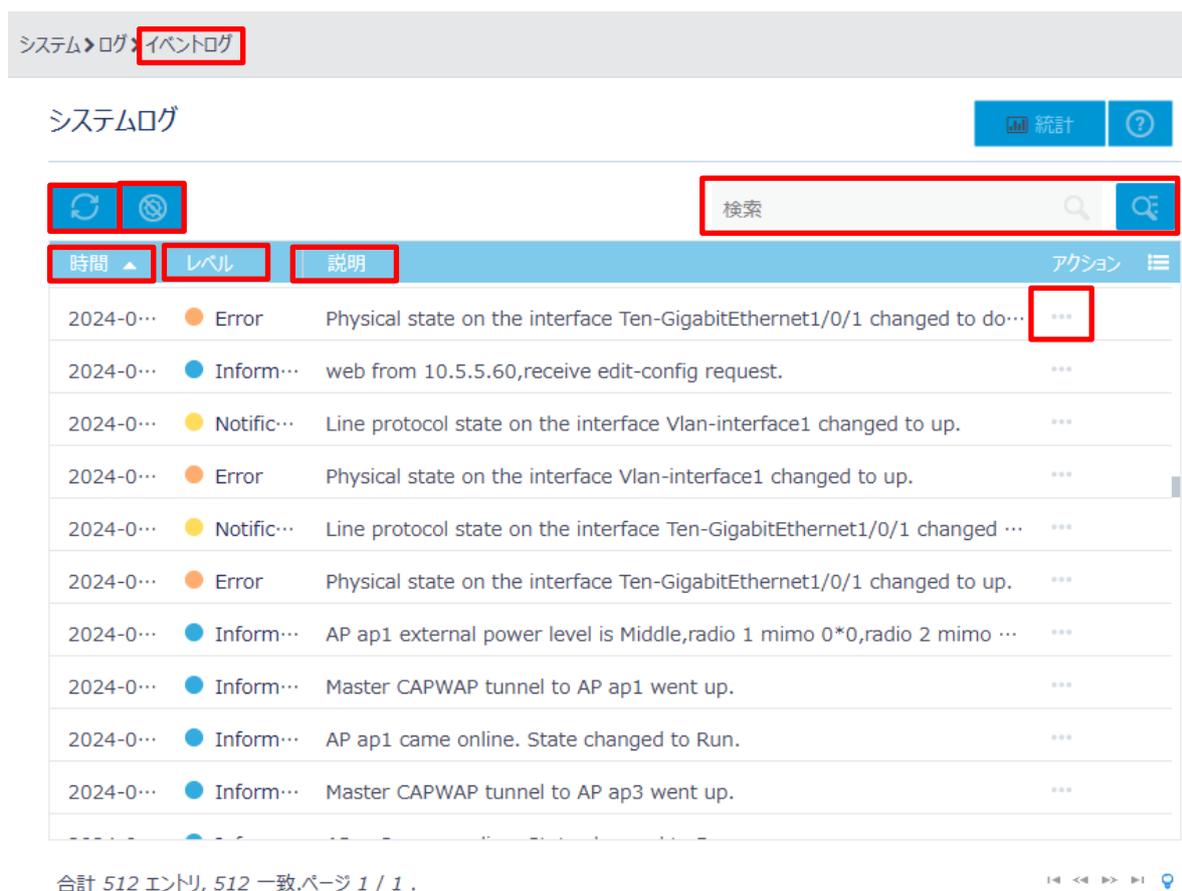
### 5.1.1 システムログの表示

サブメニューで“イベントログ”を選択します。図 5-3 に示すようなシステムログが表示されます。

各項目名をクリックすると、その項目に基づいてデータを並び替えることができます。

- 「時間」をクリックすると、時間に基づいてデータを昇順、もしくは降順に並べ替えることができます。この操作により、最新のデータから過去のデータ、またはその逆の順序で表示することができます。
- 「レベル」をクリックすると、データをシステムログの重要度ごとに並び替えることができます。この操作により、重要度の高い順、低い順に並び替えて表示することができます。
- 「説明」をクリックすると、説明文のアルファベット順に並び替えることができます。

 をクリックすると、システムログの更新を行います。



システムログ > イベントログ

システムログ 統計 ?

時間 ▲	レベル	説明	アクション
2024-0...	Error	Physical state on the interface Ten-GigabitEthernet1/0/1 changed to do...	...
2024-0...	Inform...	web from 10.5.5.60, receive edit-config request.	...
2024-0...	Notific...	Line protocol state on the interface Vlan-interface1 changed to up.	...
2024-0...	Error	Physical state on the interface Vlan-interface1 changed to up.	...
2024-0...	Notific...	Line protocol state on the interface Ten-GigabitEthernet1/0/1 changed ...	...
2024-0...	Error	Physical state on the interface Ten-GigabitEthernet1/0/1 changed to up.	...
2024-0...	Inform...	AP ap1 external power level is Middle, radio 1 mimo 0*0, radio 2 mimo ...	...
2024-0...	Inform...	Master CAPWAP tunnel to AP ap1 went up.	...
2024-0...	Inform...	AP ap1 came online. State changed to Run.	...
2024-0...	Inform...	Master CAPWAP tunnel to AP ap3 went up.	...

合計 512 エントリ, 512 一致. ページ 1 / 1 . ◀ ▶ ⏪ ⏩

図 5-3 システムログ

\*\*\* をクリックすると図 5-4 のようなシステムログの詳細情報を表示します。“Close” をクリックすると、システムログの情報画面に戻ります。

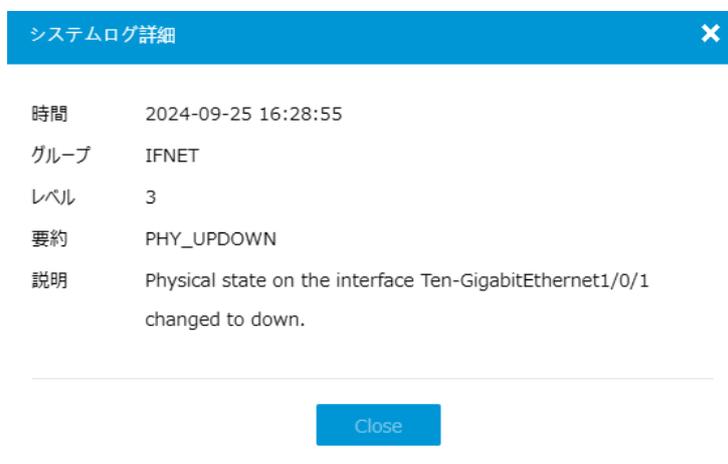


図 5-4 システムログ詳細情報

### 5.1.2 システムログの検索

システムログを検索することができます。システムログ画面で、warning など検索したい項目を“検索”に入力します。

システムログ画面で  をクリックすることで、システムログの高度な検索を行うことができます。“時間”、“レベル”、“説明”を選択、入力します。“検索”をクリックします。図 5-5 にシステムログの高度な検索画面を表示します。

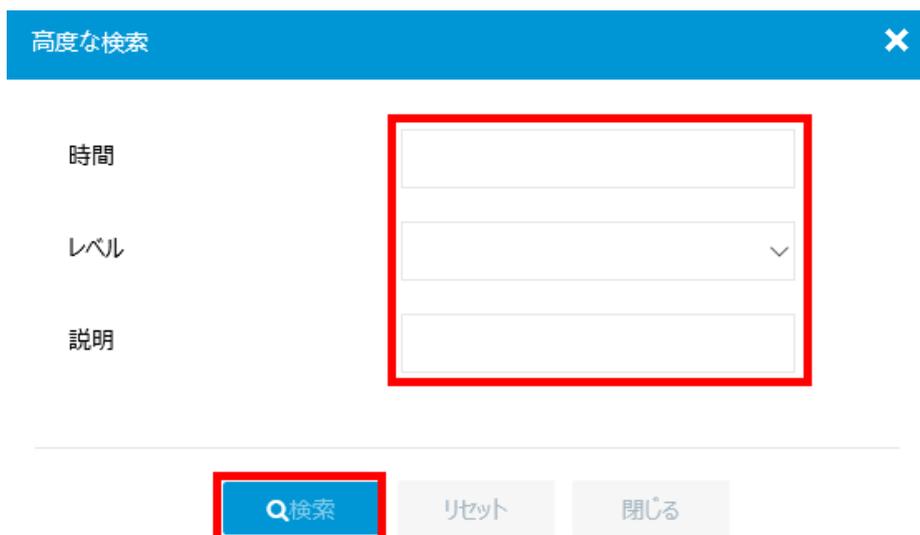


図 5-5 システムログの高度な検索

### 5.1.3 システムログの削除

右上の  をクリックすると全システムログを削除します。図 5-6 に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。

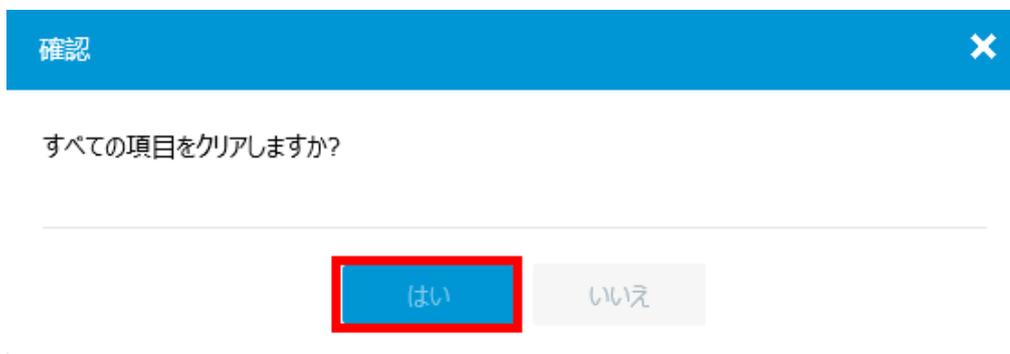


図 5-6 全システムログの削除

## 5.2 ファイルの管理

### 5.2.1 ファイルの表示

システムサブメニューの“ファイルシステム”から“ファイルシステム管理”を選択します。図 5-7 に示すようにフラッシュメモリのファイル画面が表示されます。

ファイル画面で  をクリックすると、ファイル画面の更新を行います。



図 5-7 ファイルの表示

## 5.2.2 ファイルの検索

ファイルを検索することができます。ファイルの表示画面で、config.cfg などの検索したい項目を“検索”に入力します。

ファイルの表示画面で  をクリックすることで、ファイルの高度な検索を行うことができます。“名前”、“サイズ(bytes)”、“時間”、“ディレクトリ”、“ファイルバージョン”、“操作”を入力します。“検索”をクリックします。図 5-8 にファイルの高度な検索画面を表示します。



高度な検索

名前	<input type="text"/>
サイズ(byte)	<input type="text"/>
時間	<input type="text"/>
ディレクトリ	<input type="text"/>
ファイルバージョン	<input type="text"/>
操作	<input type="text"/>

図 5-8 ファイルの高度な検索

### 5.2.3 ファイルの削除

ファイルの表示画面で削除するファイルを選択します。図 5-9 に示すように削除するファイルにチェックを入れて“削除”をクリックすると確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックします。

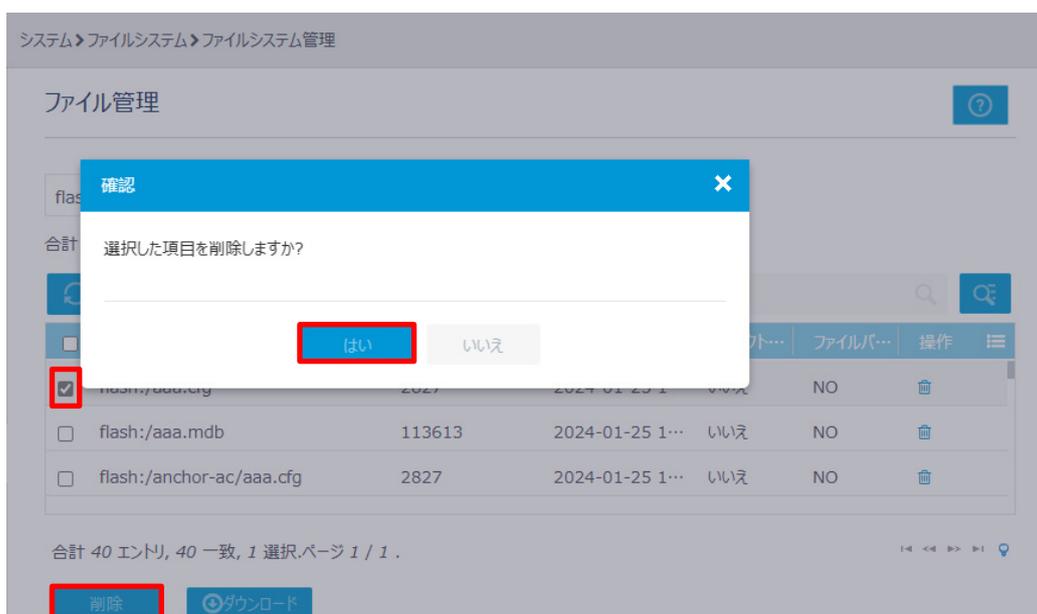


図 5-9 ファイルの削除

### 5.2.4 ファイルのアップロード

ファイルをフラッシュメモリにアップロードすることができます。ファイルの表示画面で  をクリックすると、図 5-10 に示すようなフラッシュメモリのアップロード画面が表示されます。フラッシュメモリのアップロード画面でアップロードするファイルを選択します。



図 5-10 フラッシュメモリへのアップロード

## 5.3 ユーザ設定

### 5.3.1 ユーザリストの表示

システムサブメニューで“管理者”を選択します。図 5-11 に示すようなユーザリストが表示されます。

ユーザリストで  をクリックすると、ユーザリストの更新を行います。



図 5-11 ユーザリストの表示

### 5.3.2 ユーザリストの検索

ユーザを検索することができます。ユーザリストで検索したい項目を“検索”に入力します。

 をクリックすることで、ユーザの高度な検索を行うことができます。

- 1) “ユーザ名”、“ユーザロール”、“許可されているアクセスタイプ”を入力します。
- 2) “検索”をクリックします。

図 5-12 に管理者の高度な検索画面を表示します。



図 5-12 管理者の高度な検索

### 5.3.3 ユーザの編集・削除・追加

#### I. ユーザの編集

編集するユーザのをクリックします。図 5-13 に示すような編集画面に移行します。編集したい項目に記入した後、“適用”をクリックします。



ユーザー名 \* web (1-55文字)

パスワード (1-63文字)

パスワードの確認 (1-63文字)

ユーザーロール 選択

- network-admin
- network-operator

グループ system

許可されているアクセスタイプ  Terminal  Telnet  FTP  HTTP  HTTPS  PAD  SSH

最大同時オンラインユーザ数 (1-1024)

FTP作業ディレクトリ flash: (1-255文字)

高度な設定の表示

適用 キャンセル

図 5-13 ユーザ編集画面

#### II. ユーザの削除

削除するユーザのをクリックします。図 5-14 に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックします。



確認

選択した項目を削除しますか?

はい いいえ

図 5-14 ユーザの削除確認ダイアログ

### III. ユーザの追加

ユーザを追加することができます。ユーザリストで  をクリックすると、図 5-15 に示す新規ユーザ追加画面に移行します。追加するユーザの情報を記入後、“適用”をクリックします。

ユーザ名 *	<input type="text"/>	(1-55文字)
パスワード	<input type="password"/>	(1-63文字)
パスワードの確認	<input type="password"/>	(1-63文字)
ユーザロール	<input type="text" value="選択"/>	
グループ	<input type="text" value="選択"/>	
許可されているアクセスタイプ	<input type="checkbox"/> Terminal <input type="checkbox"/> Telnet <input type="checkbox"/> FTP <input type="checkbox"/> HTTP <input type="checkbox"/> HTTPS <input type="checkbox"/> PAD <input type="checkbox"/> SSH	
最大同時オンラインユーザ数	<input type="text"/>	(1-1024)
FTP作業ディレクトリ	<input type="text" value="flash:"/>	(1-255文字)

[高度な設定の表示](#)

<input type="button" value="適用"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>
-----------------------------------	--------------------------------------

図 5-15 新規ユーザ追加画面

## 5.4 装置管理

システムサブメニューで“設定”を選択します。

### 5.4.1 装置情報、システムクロックの設定

“設定”を選択します。図 5-16 に示すような装置情報の設定メニューが表示されます。



図 5-16 装置情報の設定メニュー

#### 1. 装置情報の設定

装置情報の設定メニューの“デバイス情報”の  をクリックすると、図 5-17 に示すような装置情報の設定を表示します。

“装置名”を入力し、“適用”をクリックします。

A screenshot of the device information configuration page. At the top, the breadcrumb trail is システム > 装置管理 > 設定. Below this is a blue button with a question mark icon. The main heading is '< 装置情報'. There are three input fields: '装置名' (Device Name) with the value 'QX-W1240' and a note '(1~64文字)'; 'デバイスの場所' (Device Location); and 'Contact information'. At the bottom left, there is a blue button labeled '適用' (Apply).

図 5-17 装置情報の設定

## II. システムクロックの設定

装置情報の設定メニュー“日付と時刻”の  をクリックすると、図 5-18 に示すようなシステムクロックの設定を行います。

“設定” をクリックすると、装置情報の設定メニュー画面に戻ります。

- 1) “日時を設定する” で “時刻を手動で設定する”、あるいは “ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する” を選択します。
  - ローカルシステムクロックを指定する場合、図 5-18 に示すように “時刻を手動で設定する” を選択し、 をクリックします。図 5-19 に示すようにカレンダー表示で日付を設定することができます。 をクリックし、図 5-20 に示すように時刻を設定します。
  - NTP を使用する場合、“ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する” を選択します。
- 2) “タイムゾーン” で “Tokyo (GMT+09:00)” を選択します。
- 3) “サマータイム” でサマータイムを設定します。
- 4) “適用” をクリックします。



システム > 装置管理 > 設定

システム時刻 10:09:52  
09/26/2024

日時を設定する  時刻を手動で設定する  
2024-09-26   
10:09:08   
 ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する

タイムゾーン  
JST(GMT+09:00) ▼

サマータイム  サマータイムに合わせて時刻を調整する 

適用

図 5-18 システムクロックの設定

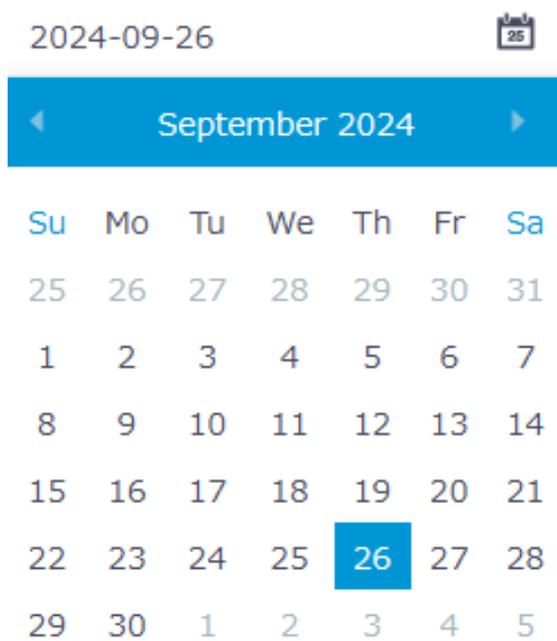


図 5-19 カレンダー表示

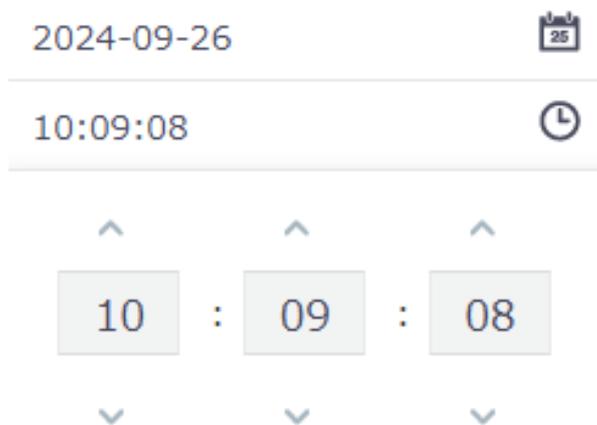


図 5-20 時刻の設定

## 5.4.2 設定ファイルの管理

### I. 設定ファイルの管理メニュー

“設定” を選択します。図 5-21 に示すようなコンフィグレーションの管理メニューが表示されます。



図 5-21 コンフィグレーションの管理メニュー

### II. ランニングコンフィグレーションの表示

コンフィグレーションの管理メニューで“ランニングコンフィグレーションの表示”の右側にある右向き矢印をクリックすると、図 5-22 に示すように現在の設定を表示します。

“設定ファイル” をクリックするとコンフィグレーションの管理メニューに戻ります。



図 5-22 ランニングコンフィグレーションの表示

### III. ランニングコンフィグレーションの保存

コンフィグレーションの管理メニューで“ランニングコンフィグレーションの保存”をクリックすると、図 5-23 に示すように装置のフラッシュメモリにカレントコンフィグレーションを保存します。

保存するファイルを“次回の起動に使用するスタートアップコンフィグレーションに保存”あるいはファイル名を指定し、“適用”をクリックします。



図 5-23 ランニングコンフィグレーションの保存

### IV. ランニングコンフィグレーションのバックアップ

コンフィグレーションの管理メニューで“ランニングコンフィグレーションのエクスポート”をクリックすると、図 5-24 に示すようなダイアログが表示されます。

- 1) “保存”をクリックします。図 5-25 に示すようにダウンロードファイルの処理を促すダイアログが表示されます。
- 2) “フォルダを開く”をクリックします。図 5-26 に示すように“startup.cfg”ファイルが保存されたフォルダを表示します。



図 5-24 コンフィグレーションファイルの確認ダイアログ

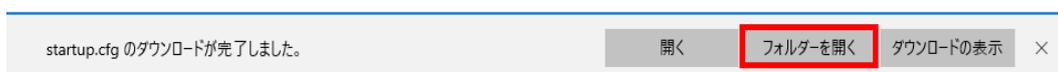


図 5-25 コンフィグレーションファイルの処理ダイアログ

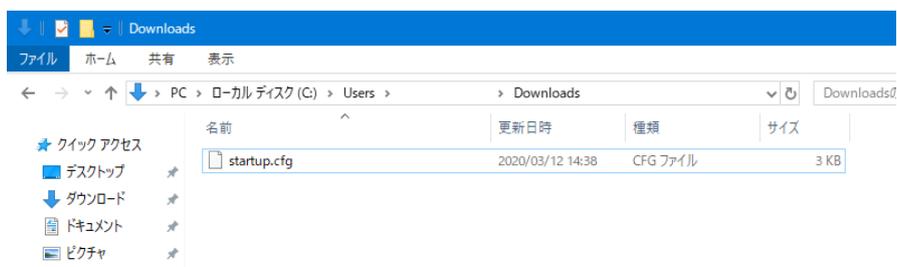


図 5-26 ダウンロードフォルダ

## V. コンフィグレーションファイルの復元

コンフィグレーションの管理メニューで“コンフィグレーションのインポート”をクリックすると、図 5-27 に示すような画面が表示されます。



図 5-27 コンフィグレーションファイルの復元

図 5-28 に示すようにコンフィグレーションファイルの選択画面でダウンロードするファイルを選択します。



図 5-28 コンフィグレーションファイルの選択

### 5.4.3 ソフトウェアのアップグレード

- 1) “Upgrade” を選択します。図 5-29 に示すようなソフトウェアイメージのアップグレード画面が表示されます。



図 5-29 ソフトウェアイメージのアップグレード

- 2) “アップグレード” をクリックすると、図 5-30 に示すようなソフトウェアイメージの選択画面が表示されます。



図 5-30 ソフトウェアファイルの選択

- 3) ソフトウェアイメージを参照し、“適用” をクリックすると、ソフトウェアイメージのアップグレードを行います。
- 4) 装置の再起動が行われた後、Web ブラウザから再度ログインしてください。

ソフトウェアイメージのアップグレード画面の“ソフトウェアイメージの表示”で をクリックすると、図 5-31 に示すようにフラッシュメモリの現在のソフトウェアイメージを表示します。

“アップグレード” をクリックするとソフトウェアイメージのアップグレード画面に戻ります。



図 5-31 現在のソフトウェアイメージ

#### 5.4.4 装置の再起動

- 1) システムサブメニューで“再起動”を選択します。
- 2) 図 5-32 に示すような装置の再起動画面が表示されます。“デバイスの再起動”をクリックします。
- 3) 図 5-33 に示すような再起動時の確認ダイアログが表示されます。カレントコンフィグレーションを次回の起動に使用するスタートアップコンフィグレーションファイルに保存するため“再起動する前に実行中の構成を保存します。”がチェックされていることを確認します。
- 4) “適用”をクリックします。図 5-34 に示すような再起動完了メッセージが表示されます。
- 5) 再度ログインしてください。



図 5-32 装置の再起動

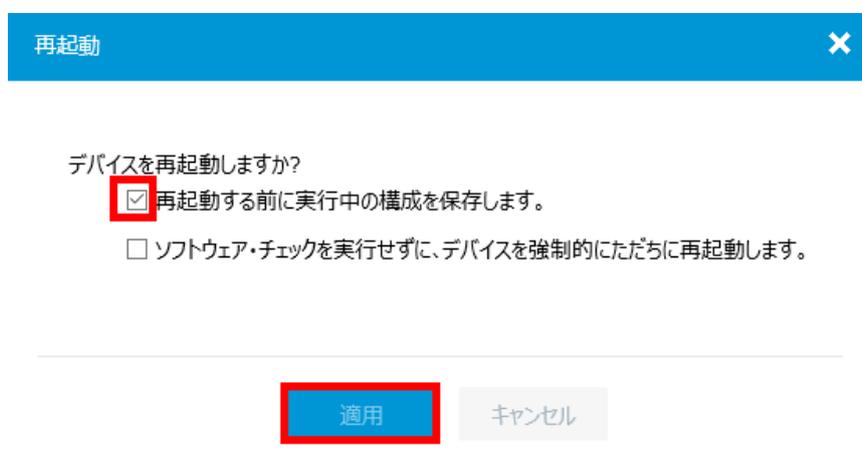


図 5-33 再起動時の確認ダイアログ



図 5-34 再起動完了メッセージ

## 5.4.5 装置情報

### I. 装置情報のメニュー表示

“について” を選択します。図 5-35 に示すような装置情報のメニュー画面が表示されます。



図 5-35 装置情報のメニュー画面

### II. 装置名の表示

“デバイス” の > をクリックします。図 5-36 に示すような装置名表示画面に移行します。

“について” をクリックするとコンフィギュレーションの管理メニューに戻ります。

システム > 装置管理 > について	
デバイス名	QX-W1240
シリアル番号	219801A5B88238E0000H
デバイスタイプ	QX-W1240
説明	Comware Platform Software, Software Version 7.5.109, 7.5.109 NEC QX-W1240
デバイスの場所	-
連絡先情報	-

図 5-36 装置名表示画面

### III. 装置バージョンの表示

“バージョン”の  をクリックします。図 5-37 に示すような装置バージョン表示画面に移行します。

システム > 装置管理 > について

Comware Software, Version 7.5.109  
QX-W1240 uptime is 1 week, 6 days, 19 hours, 9 minutes  
Last reboot reason : User soft reboot

Boot image: flash:/qx-w1240-boot.bin  
Boot image version: 7.5.109  
Compiled Jul 18 2024 16:00:00  
System image: flash:/qx-w1240-system.bin  
System image version: 7.5.109  
Compiled Jul 18 2024 16:00:00

with 1 ARM 2600MHz Processor  
2048M bytes DDR4  
256M bytes NandFlash Memory

Current running mode: Anchor AC  
Next startup mode: Anchor AC  
Hardware Version is Ver.A  
Basic Bootrom Version is 1.05  
Extend Bootrom Version is 1.05  
[Subslot 0]NEC QX-W1240 Hardware Version is Ver.A  
[SLOT 1]GE1/0/2 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0  
[SLOT 1]XGE1/0/1 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0  
[SLOT 1]RADIO1/0/1 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0  
[SLOT 1]RADIO1/0/2 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0  
[SLOT 1]RADIO1/0/3 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0

図 5-37 装置バージョン表示画面

## 目次

<b>6章 Toolsメニュー</b> .....	<b>6-1</b>
6.1 デバッグ .....	6-2
6.1.1 診断情報の収集 .....	6-2

## 6章 Tools メニュー

図 6-1に示すシステム表示での設定メニューで“ツール”をクリックすると、図 6-2に示すサブメニューが表示されます。



図 6-1 ツールメニューの選択

デバッグ	診断	
Ping	IPv4 Ping	IPv6 Ping
Tracert	IPv4 Tracert	IPv6 Tracert
パケットキャプチャ	ワイヤレスパケットキャプチャ	

図 6-2 ツールサブメニュー

## 6.1 デバッグ

### 6.1.1 診断情報の収集

- 1) サブメニューで“診断”を選択します。
- 2) 図 6-3に示す診断情報の収集画面から“収集”をクリックします。
- 3) 図 6-4に示すように診断情報がダウンロードされます。
- 4) 図 6-5に示すように診断情報ファイルが保存されたフォルダを開きます。

圧縮されたファイルを展開することで、テキストエディタで診断情報ファイルを表示することができます。



ツール > デバッグ > 診断



収集

図 6-3 診断情報の収集

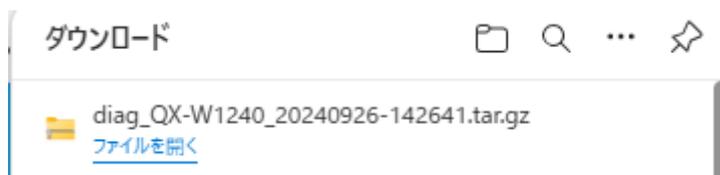


図 6-4 診断情報のダウンロード

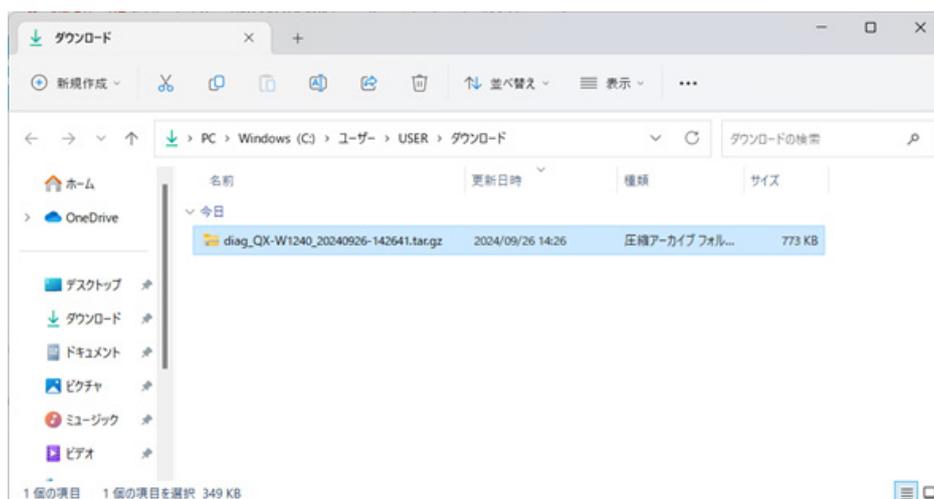


図 6-5 診断情報のダウンロードフォルダ

## 目次

<b>7章 クイックスタートメニュー</b> .....	<b>7-1</b>
7.1 AP の指定.....	7-2
7.2 SSID の設定 .....	7-2

## 7章 クイックスタートメニュー

図 7-1 に示すネットワーク表示での設定メニューで“クイックスタート”をクリックします。図 7-2 に示すようなサブメニューが表示されます。

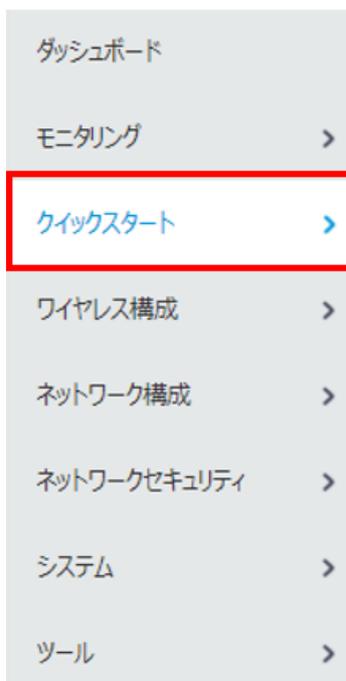


図 7-1 クイックスタートメニューの選択

APの追加

サービスの追加

ユーザの追加

図 7-2 サブメニュー

## 7.1 APの指定

サブメニューで“AP の追加”を選択します。図 7-3 に示すような AP の指定画面が表示されます。

- 1) “AP 名”、“AP モデル”、“シリアル ID” を選択、入力します。図 7-3 に示す例では、以下のように指定します。

“Name” : ap1

“Model” : QX-W1130

“Serial ID” : 219801A2GH820CE000DC

“適用” をクリックします。

クイックスタート> APの追加

AP名 *	<input type="text" value="ap1"/> (1-64 文字)	AP接続優先度	<input type="text" value="65535(継承)"/> (0-7, デフォルト値: 継承)
説明	<input type="text"/> (1-64 chars)	CAPWAPトンネルkeepalive エコ-間隔	<input type="text" value="10(継承)"/> 秒 (0,5-255, デフォルト値: 継承)
APモデル *	<input type="text" value="QX-W1130"/> *	要求再転送	再転送間隔
● シリアルID	<input type="text" value="219801A2GH820CE000DC"/> (1-63 文字)		<input type="text" value="5(継承)"/> 秒 (3-8, デフォルト値: 継承)
○ MAC アドレス	<input type="text" value="HH-HH-HH-HH-HH-HH"/>	再転送回数	<input type="text" value="3(継承)"/> (2-5, デフォルト値を使用します)
APグループ名	<input type="text" value="default-group"/>	統計情報報告間隔	<input type="text" value="255(継承)"/> 秒 (0-240, デフォルト値: 継承)
領域コード	<input type="text" value="選択"/>	CAPWAPトンネル暗号化	<input type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> 継承(オフ)
		ソフトウェアアップグレード	<input type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> 継承(オン)
		5GHz 無線(1)	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input type="radio"/> 継承(オフ)
		5GHz 無線(2)	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input type="radio"/> 継承(オフ)
		2.4GHz 無線(3)	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input type="radio"/> 継承(オフ)

図 7-3 AP の指定画面

## 7.2 SSIDの設定

クイックスタートサブメニューで“サービスの追加”を選択します。図 7-4 に示すような SSID の設定画面が表示されます。設定手順を以下に示します。

- 1) “Wireless service” にサービスプレート名を入力します。図 7-4 に示す例でのサービスプレート名は“service1”です。複数設定する場合、同名を使用することはできません。
- 2) “SSID”を入力します。図 7-4 に示す例での SSID は“test1”です。複数設定する場合、同名を使用することはできません。
- 3) “無線サービス”で“オン”を選択します。
- 4) “認証モード”で“スタティックキー (PSK)”を選択します。

- 5) “PSK 鍵” で “Passphrase” を選択し、パスワードを入力します。図 7-4 に示す例でのパスワードは “12345678” です。“パスワードの確認” にも同じパスワードを入力します。
- 6) “適用” をクリックします。

クイックスタート>サービスの追加

基本設定	認証設定
無線サービス名 * <input type="text" value="service1"/> (1-63 文字)	認証モード <input type="radio"/> オープン(認証なし) <input type="radio"/> Enhanced-Open <input checked="" type="radio"/> スタティックキー (PSK) <input type="radio"/> 802.1X <input type="radio"/> 802.1X認証(暗号化なし) <input type="radio"/> スタティックWEP <input type="checkbox"/> MAC認証 <input type="checkbox"/> IPv4 Portal認証 <input type="checkbox"/> IPv6 Portal認証
SSID * <input type="text" value="test1"/> (1-32 文字)	認証装置 <input checked="" type="radio"/> AC <input type="radio"/> AP
説明 <input type="text"/> (1-64 文字)	セキュリティモード <input type="radio"/> WPA <input type="radio"/> WPA2 <input checked="" type="radio"/> WPA or WPA2 <input type="radio"/> WPA3[パーソナル] <input type="radio"/> WPA3エンタープライズ
無線サービス <input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ	管理フレーム保護 <input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
デフォルトVLAN <input type="text" value="1(デフォルト)"/> (1-4094, デフォルト値: 1)	PSK鍵 * <input checked="" type="radio"/> Passphrase <input type="radio"/> Rawkey <input type="text" value="*****"/> (8-63 アルファベット文字) <input type="text" value="*****"/> パスワードの確認
SSIDステルス <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
ユーザーイソレーション <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
転送タイプ <input checked="" type="radio"/> ローカル転送モード <input type="checkbox"/> ポリシーベース	

図 7-4 SSID の設定画面

## 目次

<b>8 章 ワイヤレス構成メニュー</b> .....	<b>8-1</b>
8.1 AP 管理 .....	8-2
8.1.1 AP の表示 .....	8-2
8.1.2 AP と SSID の関連づけ .....	8-3
8.1.3 設定の確認 .....	8-5

## 8章 ワイヤレス構成メニュー

図 8-1 に示すネットワーク表示での設定メニューで“Wireless Configuration”をクリックします。図 8-2 に示すようなサブメニューが表示されます。



図 8-1 ワイヤレス構成メニューの選択

ワイヤレスサービス	無線サービスの設定			
APの管理	AP	APグループ	APのグローバル設定	
ワイヤレスQoS	クライアントレートの制限	帯域保証	Wi-Fiマルチメディア	
無線管理	無線の設定	RRM	ロードバランシング	バンドナビゲーション
ワイヤレスセキュリティ	WIPS	ホワイトリストとブラックリスト		
アプリケーション	マルチキャストの最適化	位置認識	Bonjour	

図 8-2 ワイヤレス構成サブメニュー

## 8.1 AP管理

### 8.1.1 AP の表示

#### I. AP の表示

ワイヤレス構成サブメニューの“AP 管理”で“AP”を選択します。図 8-3 に示すような AP 情報が表示されます。

 をクリックすると、AP 情報の更新を行います。



AP名 ▲	設置日	説明	APグループ	APタイプ	APモデル	シリアルID	MACアドレス	ラジオ	アクション
<input type="checkbox"/> 04a9-5967-e500		default-group	手動AP (内部AP)	QX-W1240	219801A5B8823...	04-A9-59-67-E5-00	3,802.11be(6GHz...	オンライ	 
<input type="checkbox"/> ap1		default-group	手動AP	QX-W1130	219801A2GH820...	84-65-69-89-89-A0	3,802.11ax(5GHz...	オンライ	 
<input type="checkbox"/> ap2		default-group	手動AP	QX-W1030	219801A1K0919...	34-68-58-95-9F-40	3,802.11ac(5GHz...	オンライ	 
<input type="checkbox"/> ap3		default-group	手動AP	QX-W1240	219801A5B8823...	14-96-2D-06-C2-10	3,802.11be(6GHz...	オンライ	 

合計 4 エントリ, 4 一致, 0 選択, ページ 1 / 1 .

図 8-3 AP 情報

#### II. AP の検索

AP を検索できます。AP 情報表示画面で、検索したい項目を入力します。

 をクリックすることで、AP の高度な検索を行うことができます。図 8-4 に AP の高度な検索画面を表示します。

- 1) 検索したい AP の“AP 名”、“説明”、“AP グループ”、“AP タイプ”、“AP モデル”、“MAC アドレス”、“ラジオ”を入力します。
- 2) 入力したら“検索”をクリックします。

高度な検索✕

AP名	
設置日	
説明	
APグループ	
APタイプ	
APモデル	
シリアルID	
MACアドレス	
ラジオ	

🔍 検索リセット閉じる

図 8-4 AP の高度な検索画面

### 8.1.2 AP と SSID の関連づけ

“クイックスタートメニュー”の“AP の指定”、“SSID の設定”で設定した AP と SSID を関連づけます。

- 1) AP 名の左側のチェックボックスをチェックし (☑)、右側の編集アイコン✎をクリックします。
- 2) “WLAN サービス設定”をクリックします。図 8-5 に示すような各ラジオに割り当てられたサービステンプレートの一覧画面が表示されます。
- 3) サービステンプレートをバインドしたいラジオの + 追加 をクリックします。図 8-6 では例として、“クイックスタートメニュー”の“SSID の設定”で設定したサービステンプレート “servce1” をラジオ 1 (5GHz) に設定し、バインドする VLAN を 1 に設定します。
- 4) “適用” をクリックします。

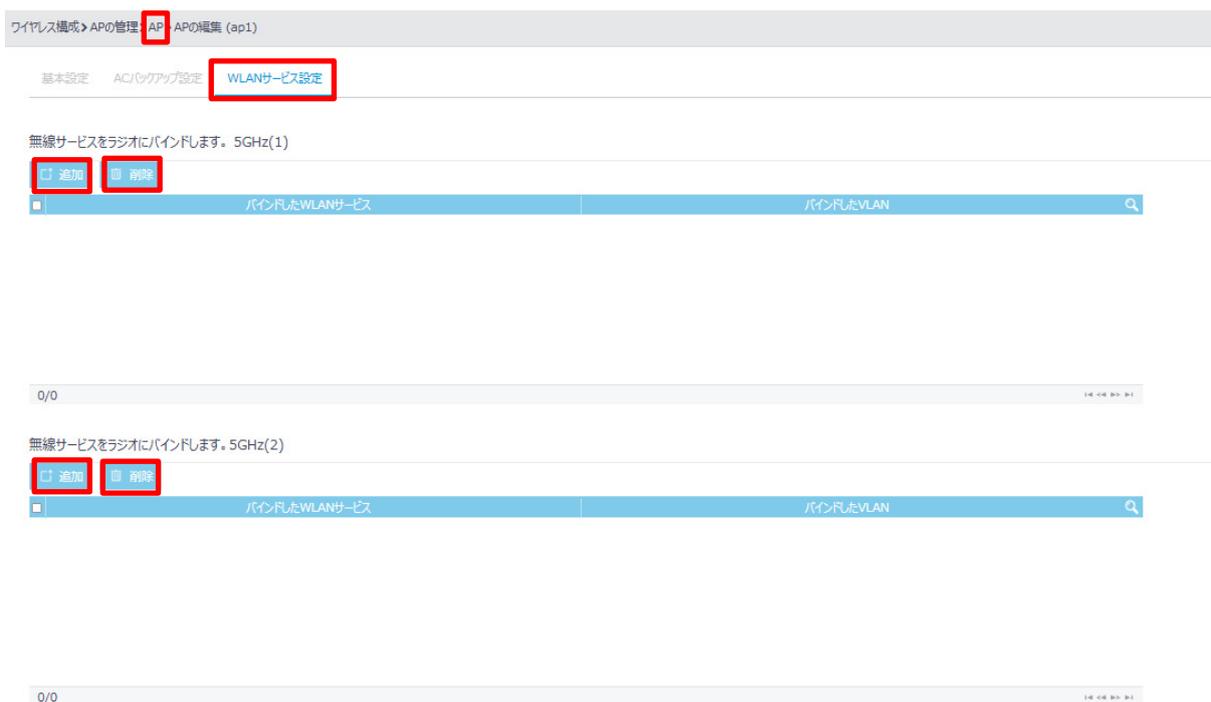


図 8-5 WLAN サービス設定画面

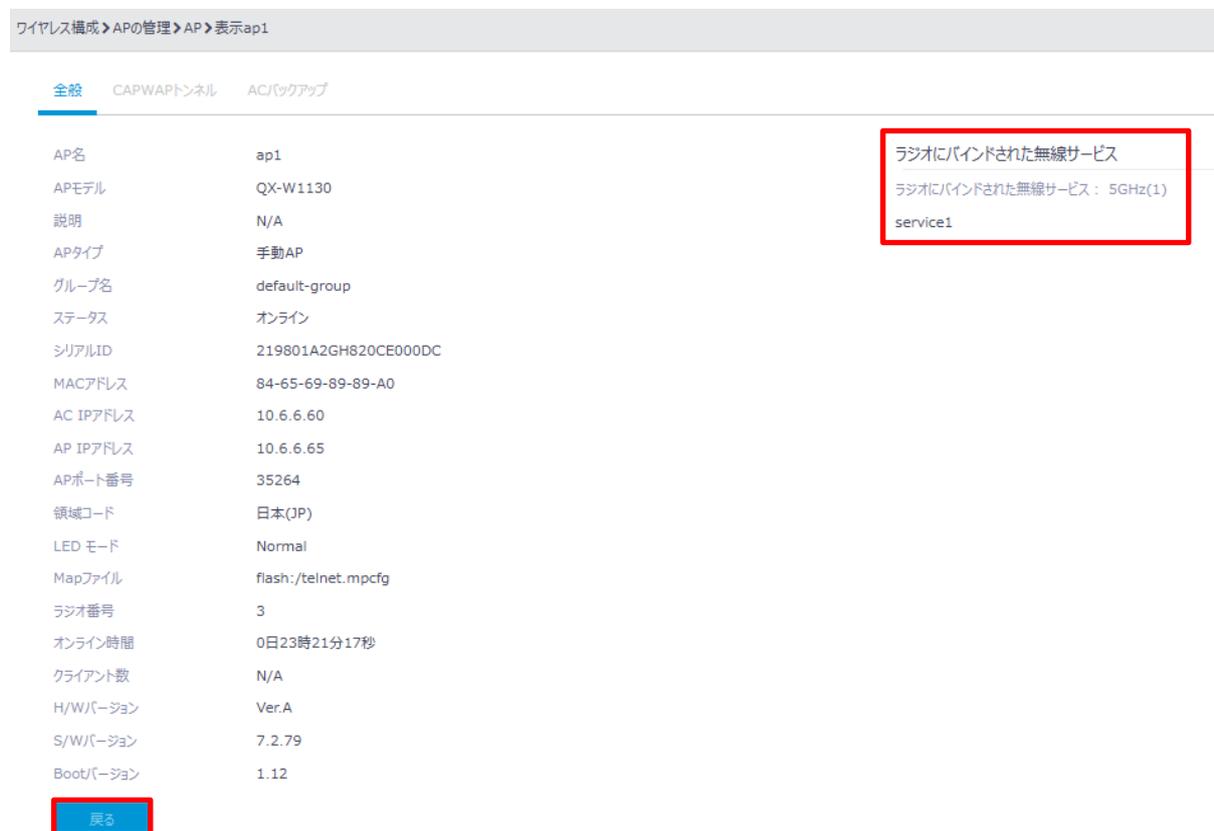


図 8-6 バインドの追加

### 8.1.3 設定の確認

図 8-3 に示す  の右側の  をクリックします。図 8-7 に示すような設定確認画面が表示されます。

“戻る” をクリックすると AP 情報表示画面に戻ります。



ワイヤレス構成 > APの管理 > AP > 表示ap1

全般 CAPWAPTunnel ACバックアップ

AP名	ap1
APモデル	QX-W1130
説明	N/A
APタイプ	手動AP
グループ名	default-group
ステータス	オンライン
シリアルID	219801A2GH820CE000DC
MACアドレス	84-65-69-89-89-A0
AC IPアドレス	10.6.6.60
AP IPアドレス	10.6.6.65
APポート番号	35264
領域コード	日本(JP)
LED モード	Normal
Mapファイル	flash:/telnet.mpcfg
ラジオ番号	3
オンライン時間	0日23時21分17秒
クライアント数	N/A
H/Wバージョン	Ver.A
S/Wバージョン	7.2.79
Bootバージョン	1.12

ラジオにバインドされた無線サービス  
ラジオにバインドされた無線サービス: 5GHz(1)  
service1

戻る

図 8-7 設定確認画面